

案

【2025/8/5 時点】

第二期兵庫県地域創生戦略
実施状況報告書
(令和2年度～令和6年度)

令和7年9月

兵 庫 県

〈目 次〉

I	はじめに	1
II	第二期戦略の全体像と評価体系	2
III	戦略目標の達成状況（令和2年度～令和6年度）	
1	兵庫県人口の推移	5
2	戦略目標の達成状況	6
IV	実施状況（令和6年度）	
	【戦略1】地域の元気づくり（ひと・まち・産業 元気プログラム）	13
	〔重点目標1〕 幅広い産業が元気な兵庫をつくる	
	〔重点目標2〕 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる	
	〔重点目標3〕 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる	
	【戦略2】社会増対策（社会減ゼロ プログラム）	30
	〔重点目標4〕 自分らしく働ける兵庫をつくる	
	【戦略3】自然増対策(子ども・子育て対策)(婚姻数拡大 プログラム) ...	38
	〔重点目標5〕 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる	
	【戦略4】自然増対策（健康長寿対策）（健康寿命延伸 プログラム） ...	44
	〔重点目標6〕 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる	
V	戦略後期2か年の重点取組	
1	Growth Driver ～成長を牽引する共通基盤～	50
2	重点取組の3つの柱	50

I はじめに

- 本県では平成 27（2015）年 3 月に、地域創生の基本理念や、その実現に向けた戦略策定等の県の責務等を定めた「兵庫県地域創生条例（平成 27 年兵庫県条例第 4 号）」を全国に先駆けて制定した。

条例を踏まえ、同年 10 月に人口規模及び経済状況を念頭に、5 年間で取り組むべき対策とその目標を定めた「兵庫県地域創生戦略（2015～2019）」（以下、第一期戦略）を策定した。そして、第一期戦略の評価検証と新たな時代潮流を踏まえ、令和 2（2020）年 3 月に第二期「兵庫県地域創生戦略（2020～2024）」（以下、第二期戦略）を定めた。

- 第二期戦略の期間中は、新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの働き方や暮らし方が大きく変化した。また、令和 4（2022）年 3 月には、ポストコロナ社会を見据え、「挑戦」と「包摂」を両輪に兵庫のめざすべき姿「躍動する兵庫」を描いた、本県の新しい長期ビジョン「ひょうごビジョン 2050」を策定した。さらに、同年 12 月には、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の抜本的改訂が図られ、デジタルの力を活用して地域創生の加速化・深化を目指す「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定された。

こうした新たな要素を第二期戦略に反映させるため、第二期戦略の計画期間の中間年にあたる令和 4（2022）年度に中間見直しを行い、計画期間の後期 2 か年における重点的な取り組み方向を示した「後期 2 か年の重点取組方針」を策定した。

見直しにあたっては、第二期戦略の基本理念や枠組みは維持しつつ、共通基盤として「SDGs」「公民連携」「DX」を設定し、本県の持続的な成長、発展に向けた取組を推進した。

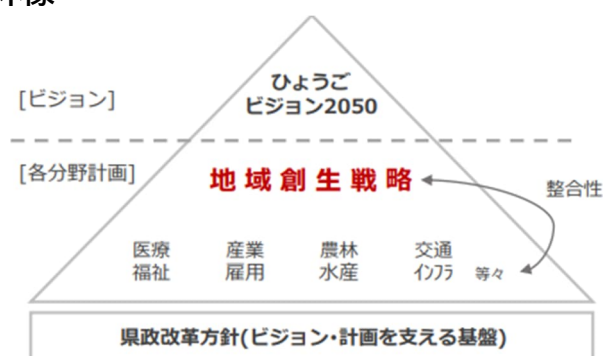
- 今回の実施状況報告は、令和 2 年度から令和 6 年度まで 5 年間の実施状況を踏まえ、第二期戦略の達成状況を総合的に検証したものである。

〈第二期兵庫県地域創生戦略の位置づけ〉

- ・「兵庫県地域創生条例」第 6 条に基づく兵庫県地域創生戦略である。
- ・「まち・ひと・しごと創生法」第 9 条に規定する都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略である。
- ・「ひょうごビジョン 2050」を実現するための、最も総合的な実行プログラムとしての性格を有し、その推進にあたっては、各分野別の計画と整合を図る。

Ⅱ 第二期戦略の全体像と評価体系

1 第二期戦略の全体像



〔基本理念〕五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ

- 〔戦略目標〕①地域の元気づくり（ひと・まち・産業 元気プログラム）
 ②社会増対策（社会減ゼロプログラム）
 ③自然増-子ども・子育て対策（婚姻数拡大プログラム）
 ④自然増-健康長寿対策（健康寿命延伸プログラム）

地域の元気づくり	社会増対策	自然増対策 (こども・子育て)	自然増対策 (健康寿命)
重点目標① 幅広い産業が元気な兵庫をつくる 重点目標② 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる 重点目標③ 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる	重点目標④ 自分らしく働ける兵庫をつくる	重点目標⑤ 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる	重点目標⑥ 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる

〈後期2か年の重点取組方針〉



共通基盤	GROWTH DRIVER
	本県の持続的な成長、発展を牽引するための、全ての取組みに通じる共通基盤

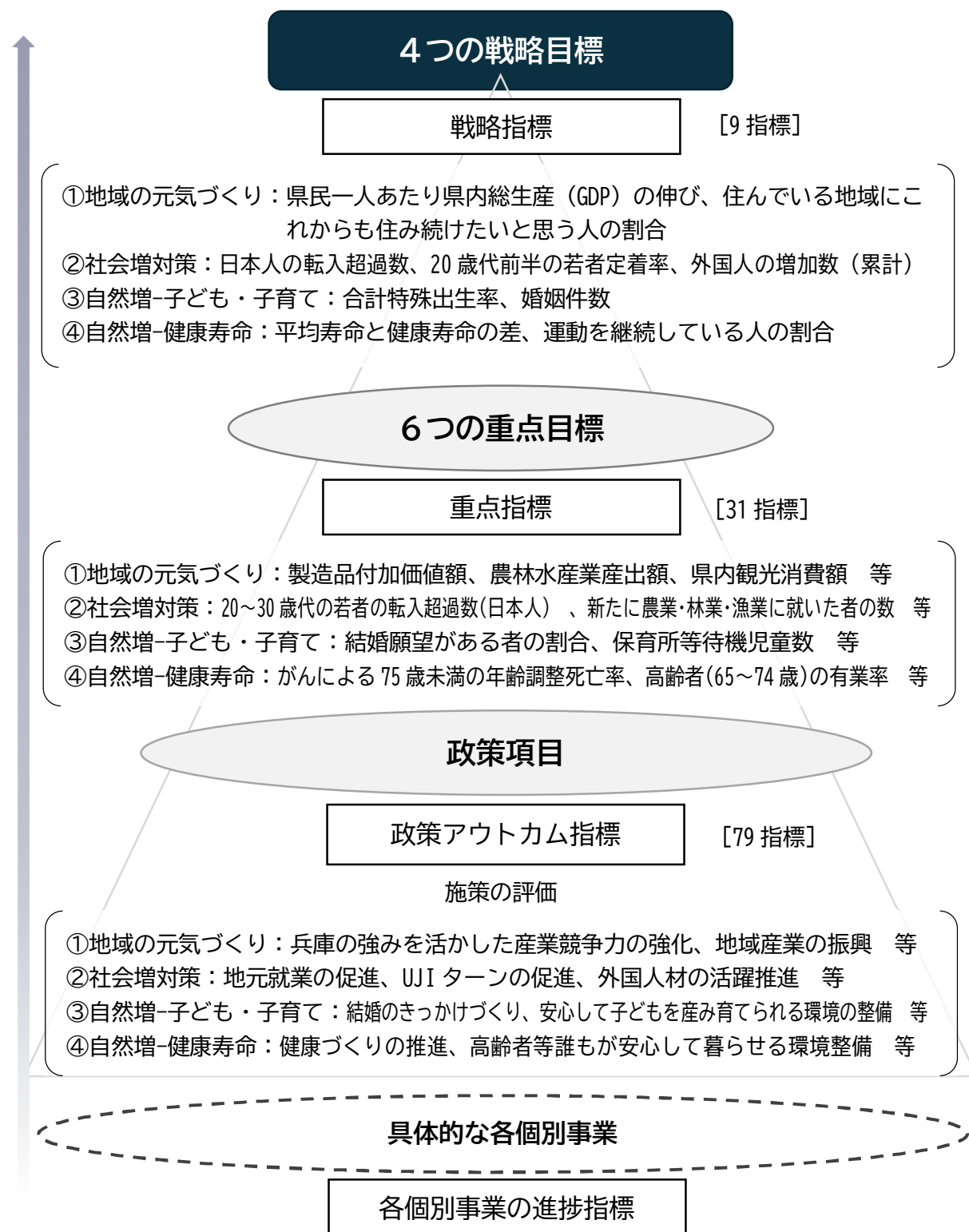
SDGs

公民連携

DX

3つの柱と主な取組		
Frontier	Return	Future
ポストコロナ社会を先導する ・GXの加速 ・万博等を見据えた交流圏の形成 ・新技術や多様なチカラによる地域課題解決	地方回帰の流れを捉える ・働き方改革先進県の実現 ・移住施策の強化 ・シビックプライドの醸成	将来世代への応援を強化する ・結婚、出産、子育て支援の充実 ・課題を抱える人への支援強化 ・教育への投資強化

2 第二期戦略の評価体系



○指標達成状況：「A」100%以上、「B」90～100%未満、「C」70～90%未満、「D」70%未満

指標区分	A	B	C	D	未判明	合計
戦略指標	2項目 22.2%	3項目 33.3%	2項目 22.2%	1項目 11.1%	1項目 11.1%	9項目
重点指標	4項目 17.4%	7項目 30.4%	3項目 13.0%	3項目 13.0%	6項目 26.1%	23項目
政策アウトカム指標	23項目 31.1%	11項目 14.9%	13項目 17.6%	8項目 10.8%	19項目 25.7%	74項目
合 計	29項目 27.4%	21項目 19.8%	18項目 17.0%	12項目 11.3%	26項目 24.5%	106項目

⇒未判明を除いた項目の半数以上（約62.5%、50/80項目）の指標で90%以上達成

【戦略目標の施策フレーム】

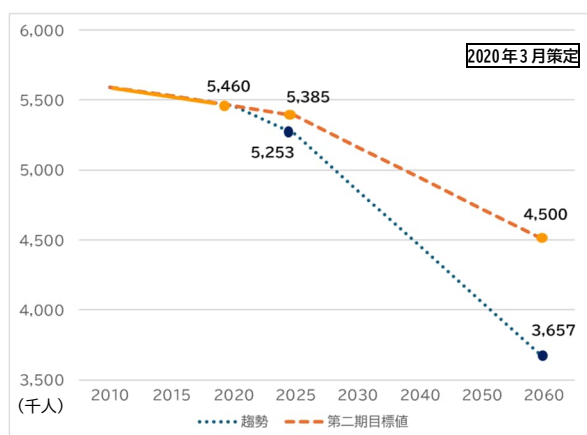
戦略目標	戦略指標	重点目標	重点指標			政策項目	主な項目	
①地域の元気づくり	■県民一人あたり県内総生産（GDP）の伸び ■住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合	1 幅広い産業が元気な兵庫をつくる	■製造品付加価値額			兵庫の強みを活かした産業競争力の強化	・次世代産業の創出 ・ものづくり産業の経営基盤・技術開発の促進 ・Society5.0を牽引する産業の集積促進 ・脱炭素化の推進	
			■対事業所サービス事業所数 ■企業立地件数			地域産業の振興	・地域の中小企業の経営基盤強化 ・地場産業の新たな展開への支援 ・商業業務機能の集積促進	
			■開業率			企業立地・投資の促進	・雇用拡大につながる企業誘致の促進 ・世界から選ばれる投資環境の整備	
			■農林水産業産出額			起業・創業の適地ひょうごの実現	・有望な起業家の成長支援 ・多様な主体による起業・創業の更なる支援	
						農林水産業の基幹産業化の推進	・農業の競争力強化 ・収益性の高い林業の推進 ・水産業の経営強化 ・兵庫の農林水産物のブランド力強化	
						多様な主体の連携による活力創出	・多様な主体の連携による活力創出	
		2 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる	■県内観光消費額 ■宿泊者数（延べ人数） ■平均泊数	■来訪者満足度 ■リピーター率（再訪意向率） ■一日あたり県内来訪者数			地域資源を活かした交流人口の拡大	・県内外からの誘客促進 ・国際ツーリズムの促進 ・観光客受入基盤の整備
							定住人口・関係人口の創出・拡大	・二地域居住・都市農村交流の促進 ・持続可能な多自然地域づくりの推進 ・地域特性に応じた空き家等の有効活用
							交流を支える交通基盤の充実	・交流を支える交通基盤の充実
				3 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる	■住んでいる地域は、芸術文化に接する機会があると思う人の割合	■住んでいる地域の自然環境は守られていると思う人の割合		豊かな文化が息づき、にぎわいあふれる地域づくり
		■住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思う人の割合			安全安心で、快適に暮らせる地域づくり		・安全安心に暮らせるまちづくり ・防災・減災対策の総合的推進 ・地域生活を維持する革新的技術の普及促進	
		■英語力を有すると思われる生徒の割合 ■将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 ■将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合			■住んでいる地域は、高齢者にも、障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合		次代の人材が育ち、誰もが力を発揮できる地域づくり	・次代を担う人材を育成する教育力の強化 ・全員活躍社会の構築 ・多文化共生社会の実現
②社会増対策	■日本人の転入超過数 ■20歳代前半の若者定着率 ■外国人の増加数（累計）	4 自分らしく働ける兵庫をつくる	■20～30歳代の若者の転入超過数（日本人） ■新たに農業・林業・漁業に就いた者の数			地元就業の促進	・県内就業意識の高揚 ・地元企業と若者とのマッチング強化 ・女性活躍の推進 ・農林水産業の担い手育成 ・雇用拡大につながる企業誘致の促進（再掲）	
						U1ターンの促進	・第二新卒者等、若者層のU1ターンの支援 ・移住対策の強化 ・シビックプライドの醸成 ・地域特性に応じた空き家等の有効活用（再掲）	
			■外国人材（専門的・技術的分野、特定技能、技能実習生）の受入数			外国人材の活躍推進	・高度外国人材の受け入れ促進 ・外国人材の県内定着の促進	
子ども・子育て対策 ③自然増	■合計特殊出生率 ■婚姻件数	5 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる	■結婚願望がある者の割合			結婚のきっかけづくり	・出会い・結婚支援の充実 ・結婚や子育てが楽しいと思える意識の醸成 ・県内就業意識の高揚（再掲） ・地元企業と若者とのマッチング強化（再掲） ・女性活躍の推進（再掲）	
			■住んでいる地域では、安心して楽しく子育てができと思う人の割合			安心して子どもを産み育てられる環境の整備	・妊娠・出産の不安解消 ・子育てや教育に係る負担の軽減 ・次代を担う人材を育成する教育力の強化【再掲】	
				■保育所待機児童数 ■放課後児童クラブの待機児童数		子育て応援社会の形成	・安心して働くことが出来る保育環境の充実 ・子育てで家庭を見守る地域づくり	
健康寿命対策 ④自然増	■平均寿命と健康寿命の差 ■運動を継続している人の割合	6 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる	■がんによる75歳未満の年齢調整死亡率 ■朝食を食べる人の割合		■高齢者（65～74歳）の有業率	健康づくりの推進	・疾病の早期発見・早期治療の推進 ・生活習慣の改善促進	
			■認知症相談医療機関の登録数の拡大			高齢者等誰もが安心して暮らせる環境整備	・認知症対策の推進 ・高齢者の地域生活を支える体制の強化	
						元気高齢者の社会参加の促進	・元気高齢者の社会参加の促進	

Ⅲ 第二期戦略目標の達成状況（令和２年度～令和６年度）

１ 兵庫県人口の推移

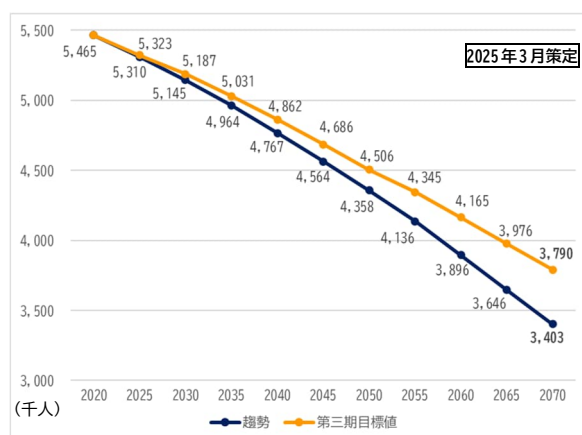
- 兵庫県の人口はH21（2009）年の560万人をピークに減少し続けており、直近の人口は、R7（2025）年4月1日で5,312,981人（「兵庫県推計人口」（R7.4.1現在）」）
- 総務省「人口推計」（R6.10.1現在）では、自然減が拡大する一方で、外国人労働者や留学生などの転入増加等により、社会増は増加傾向

【将来人口の推移（第二期戦略と第三期戦略の戦略策定時の比較）】



第二期目標：2060年 450万人

戦略対策前：2060年 360万人



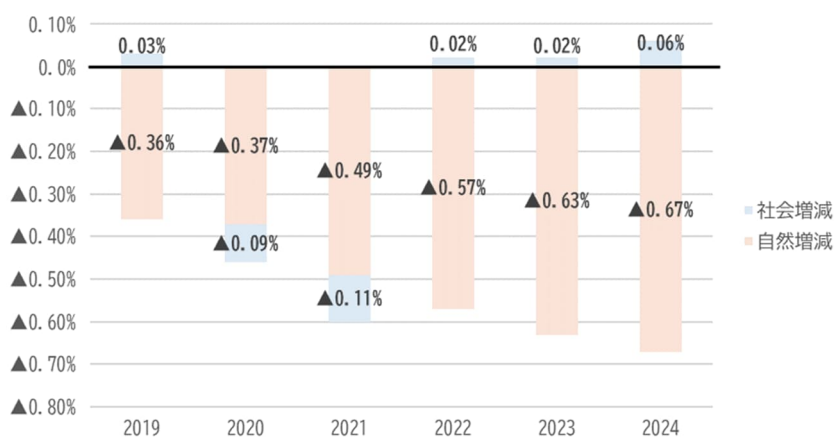
第三期目標：2070年 380万人

戦略対策前：2070年 340万人

※趨勢（すうせい）値は戦略策定時点の「国立社会保障・人口問題研究所推計ベース」

※目標値は県独自で算出

【要因別人口増減率の推移（兵庫県）】



（出典：総務省「推計人口」）

【専門的・技術的分野の在留資格を持つ外国人の推移（兵庫県）】

R1 (2019) 年	R2 (2020) 年	R3 (2021) 年	R4 (2022) 年	R5 (2023) 年	R6 (2024) 年
41,083人	44,441人	45,558人	51,092人	57,375人	66,165人

※各年10月1日現在

（出典：厚生労働省「外国人雇用状況」）

2 戦略目標の達成状況

戦略1 地域の元気づくり（ひと・まち・産業 元気プログラム）

（1）戦略指標の達成状況

戦略指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
① 県民一人当たり県内総生産(GDP)の伸び(H25比) 【評価】A	目標	—	国を上回る伸びの維持(H25比)	国を上回る伸びの維持(H25比)	国を上回る伸びの維持(H25比)	国を上回る伸びの維持(H25比)	国を上回る伸びの維持(H25比)
	実績(%)	〔実質〕 国 104.1 県 105.9 〔名目〕 国 109.3 県 110.3	〔実質〕 国 100.4 県 103.1 〔名目〕 国 106.1 県 108.6	〔実質〕 国 103.9 県 107.4 〔名目〕 国 109.8 県 112.7	〔実質〕 国 105.8 県 111.3 〔名目〕 国 112.8 県 117.5	〔実質〕 国 107.0 県 112.3 〔名目〕 国 119.0 県 122.5	〔実質〕 国 108.3 県 112.9 〔名目〕 国 123.9 県 127.3
② 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合 【評価】B	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績(%)	77.9	75.9	75.9	77.8	79.0	77.3

① 令和2年以降、常に国を上回る伸びを見せ、目標を達成

② 令和5年度はこれまでに上回る伸びを見せたが、最終的には目標を下回った

（2）重点指標の達成状況

重点目標1 幅広い産業が元気な兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
開業率 (全国順位) 【評価】未※4	目標	—	10位以内	10位以内	10位以内	10位以内	10位以内
	実績	9位 [4.51%]	11位	11位	12位	13位	(R7.10月)※1
企業立地件数 (H27～累計) 【評価】B	目標(件)	—	1,094	1,281	1,468	1,655	1,842
	実績(件)	894	1,051	1,262	1,429	1,571	1,714
農林水産業 産出額 【評価】未※4	目標(億円)	—	2,571	2,619	2,635	2,651	2,667
	実績(億円)	2,588	2,528	2,489	2,652	2982	(R8.3月)※1
製造品 付加価値額 【評価】未※4	目標(億円)	—	51,283	51,795	52,312	51,937※2	52,456※2
	実績(億円)	50,786	50,914	54,424	57,918	(R7.8月)※1	(R8.7月)※1
対事業所サービ ス事業所数※3 【評価】B	目標(社)	—	—	前回調査 を上回る	—	—	—
	実績(社)	281,085	—	1,036 [95.5%]	—	—	—

※1 該当年度において実績値が未判明のものについては判明時期を記載

※2 R5に目標・実績を修正（期間途中の実績根拠調査終了に伴うもの）

※3 情報サービス業、インターネット付随サービス業の合計

※4 R6 実績が判明していないものは評価を「未（未判明）」とする

【開業率】 令和2年以降、目標値である全国順位を若干下回っている

【企業立地件数】 目標をやや下回った

【農林水産業産出額】 令和2年から令和5年まで、目標を上回っている

【製造品付加価値額】 令和3年以降目標を上回って推移しているが評価はできない

【対事業所サービス事業所数】 前回調査（「H28 経済センサス活動調査報告」（5年に一度実施））の結果を下回った

重点目標2 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
県内観光消費額 【評価】未※3	目標 (億円)	—	14,200	14,700	15,200	[R9に 14,500※1]	[R9に 14,500※1]
	実績 (億円)	㊹12,149	6,821	8,232	11,427	〈参考〉 15,677	(R7.9月)※2
宿泊者数 (延べ人数) 【評価】未※3	目標 (万人)	—	1,450 うち外国人 165	1,500 うち外国人 190	—	[R9に1,800 うち外国人 300※1]	[R9に1,800 うち外国人 300※1]
	実績 (万人)	㊺ 1,339 うち外国人 126	898 うち外国人 18	879 うち外国人 5	1,263 うち外国人 13	〈参考〉 1,513 うち外国人 102	〈参考〉 1,650 うち外国人 153
来訪者満足度 【評価】未※3	目標 (%)	—	72	73	—	[R9に 80※1]	[R9に 80※1]
	実績 (%)	㊻69.1	72.9	66.1	63.3	〈参考〉 62.9	〈参考〉 62.8
リピーター率 (再訪意向率) 【評価】未※3	目標 (%)	—	52	53	—	[R9に 70※1]	[R9に 70※1]
	実績 (%)	㊼50.0	53.5	58.5	61.9	〈参考〉 57.6	〈参考〉 56.7
一日当たり県内 来訪者数 【評価】—※4	目標 (千人)	—	373	381	394	402	412
	実績 (千人)	353	336	274	326	—	—
平均泊数 【評価】未※3	目標 (泊)	—	—	—	—	[R9に 1.5※1]	[R9に 1.5※1]
	実績 (泊)	1.22	—	—	—	〈参考〉 1.26	〈参考〉 1.25

※1 R5に目標を修正（目標の根拠である観光戦略変更に伴うもの）

※2 該当年度において実績値が未判明のものについては判明時期を記載

※3 目標年度が期間外又はR6実績が判明していないものは評価を「未」とする

※4 R5から実績の集計が不可となったため評価できず

【県内消費額】【宿泊者数】

R9 目標のため評価はできないが、コロナ禍後は順調に推移している

【来訪者満足度】【リピーター率】【平均泊数】 R9 目標のため評価はできない

【一日当たり県内来訪者数】 コロナ禍後は順調に推移している

重点目標3 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
住んでいる市町で芸術文化に接する機会があると思う人の割合 R4～暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている人の割合 【評価】 A	目標 (%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績 (%)	38.2	38.2	37.1	39.0	37.6	39.2
住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思う人の割合 【評価】 A	目標 (%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績 (%)	73.2	71.8	72.8	69.6	68.8	69.0
CEFR A1 レベル相当以上(英検準2級～3級相当)の英語能力を有すると思われる中学3年生の割合 【評価】 C	目標 (%)	—	42	44	46	50	50
	実績 (%)	③40.8	44.2	41.6	46.2	42.3	38.7
CEFR A2 レベル相当以上(英検2級～準2級相当)の英語能力を有すると思われる高校3年生の割合 【評価】 A	目標 (%)	—	50	50	50	50	50
	実績 (%)	③48.5	52.9	53.8	54.8	57.2	56.2
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 【評価】 小 A 中 B	目標 (%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績 (%)	小学校:84.6 中学校:69.7	全国調査中止	小学校:80.5 中学校:66.8	小学校:79.7 中学校:65.5	小学校:81.4 中学校:65.1	小学校:81.9 中学校:64.2
将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合 【評価】 B	目標 (%)	—	67	68	69	70	70
	実績 (%)	64.7	68.4	68.9	67.5	66.5	65.5
住んでいる地域は、高齢者にも障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合 【評価】 B	目標 (%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績 (%)	37.6	42.3	43.1	42.5	40.0	36.0
住んでいる地域の自然環境は守られていると思う人の割合 【評価】 B	目標 (%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績 (%)	47.3	52.1	47.5	53.4	55.2	53.2

[住んでいる市町で芸術文化に接する機会があると思う人の割合、

R4～暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている人の割合]

若者や障害者を対象とした新たな取組などの成果もあり、目標を達成した

[住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思う人の割合]

防災・危機管理のハート・リフト事業が県民へ広く周知されたことで、目標を達成した

[CEFR A1 レベル相当以上(英検準2級～3級相当)の英語力を有すると思われる中学3年生の割合、

CEFR A2 レベル相当以上(英検2級～準2級相当)の英語力を有すると思われる高校3年生の割合]

授業改善に向けた言語活動や学習評価の充実を推進したことにより英語力の向上につながったが、中学生3年生の割合は目標を下回った

[将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合]

各学校におけるキャリア教育が充実してきたこともあり、概ね目標を達成した

[将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合]

キャリア教育の推進により増加したものの、最終的には目標を下回った

[住んでいる地域は、高齢者にも、障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合]

R3まで順調に推移していたがR4以降は目標を下回った

[住んでいる地域の自然環境は守られていると思う人の割合]

R1より増加したものの、最終的には目標を下回った

戦略2 社会増対策（社会減ゼロ プログラム）

（1）戦略指標の達成状況

戦略指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
① 日本人の 転入超過数 【評価】 D	目標 (人)	—	▲4,449	▲2,669	▲1,068	▲214	0
	実績 (人)	▲7,260	▲7,523	▲6,220	▲5,990	▲7,004	▲7,324
② 20歳代前 半の若者定着 率93.0%を目 指す 【評価】 B	目標 (%)	—	92.2	92.4	92.6	92.8	93.0
	実績 (%)	92.0	91.5	91.5	91.4	91.3	91.2
③ 外国人の増 加数（累計） 【評価】 A	目標 (人)	—	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000
	実績 (人)	1,222 (単年)	3,446	4,126	17,080	27,600	39,340

① 平成24年以降の転入超過が継続しており、目標を達成できなかった

② 令和2年以降、ほぼ横ばいで推移しており、いずれも目標を下回った

③ 入国制限緩和等のあった令和4年以降大きく増加しており、目標を上回った

(2) 重点指標の達成状況

重点目標4 自分らしく働ける兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
20～30 歳代の若者の転入超過数 (日本人) 【評価】 D	目標 (人)	—	▲6,112	▲4,584	▲3,056	▲1,528	±0
	実績 (人)	▲7,640	▲8,858	▲7,682	▲7,988	▲8,294	▲7,893
新たに農業、林業、漁業に就いた者の数 【評価】 未 ※2	目標 (人)	—	480	375	375	375	375
	実績 (人)	325	399	371	382	364	(R7.9月)※1
外国人材(専門的・技術的分野、特定技能、技能実習生)の受入数 【評価】 B	目標 (人)	—	19,230	23,100	27,100	31,000	35,000
	実績 (人)	19,737	21,559	21,050	23,957	28,783	34,079 人

※1 該当年度において実績値が未判明のものについては判明時期を記載

※2 R6 実績が判明していないものは評価を「未」とする

[20～30 歳代の若者の転入超過数]

20 歳代を中心とした首都圏等への転出超過などにより目標を達成できなかった

[新たに農業、林業、漁業に就いた者の数] 目標値付近で推移している

[外国人材(専門的・技術的分野、特定技能、技能実習生)の受入数]

増加傾向であるものの、目標を下回った

戦略3 自然増対策(子ども・子育て対策)(婚姻数拡大 プログラム)

(1) 戦略指標の達成状況

戦略指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
① 合計特殊出生率 【評価】 C	目標 (%)	—	1.41	1.41	1.41	1.41	1.41
	実績 (%)	1.41	1.39	1.36	1.31	1.29	1.23
② 婚姻件数 【評価】 C	目標 (件)	—	25,000	25,500	26,000	26,500	27,000
	実績 (件)	25,109	21,964	20,938	20,844	19,629	19,675

① 平成 29 年以降、低下が続いており、目標を下回った

② コロナ禍による影響で令和 2 年に大幅減となって以降、減少傾向は続き、目標を下回った

(2) 重点指標の達成状況

重点目標5 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
結婚願望がある者の割合 【評価】 D	目標 (%)	—	—	—	—	66.6	—
	実績 (%)	③60.5	—	—	—	39.1	—
住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合 【評価】 A	目標 (%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績 (%)	55.4	58.3	58.8	55.5	52.4	54.4
保育所等待機児童数 【評価】 D	目標 (人)	—	0	0	0	0	0
	実績 (人)	1,569	769	311	241	256	199
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の待機児童数 【評価】 D	目標 (人)	—	0	0	0	0	0
	実績 (人)	954	911	923	1,015	992	1,151

【結婚願望がある者の割合】 R1 の数値からも大きく低下し、目標を下回った

【住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合】

子育てに関する様々な取組が進んだことなどにより、目標を上回った

【保育所等待機児童数】 順調に減少していったものの、目標を達成できなかった

【放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の待機児童数】

待機児童数の高止まりが続いており、目標を達成できなかった

戦略4 自然増対策（健康長寿対策）（健康寿命延伸 プログラム）

(1) 戦略指標の達成状況

戦略指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
① 平均寿命と健康寿命の差 【評価】 未 ※1	目標 (年齢差)	—	—	—	—	—	男性：1.40 女性：3.13 未満
	実績 (年齢差)	男性：1.48 女性：3.20	男性：1.44 女性：3.16	男性：1.39 女性：3.06	男性：1.34 女性：2.94	R7年度中	R8年度中
② 運動を継続している人の割合 【評価】 B	目標 (%)	—	73.0	75.0	64.4	65.8	67.2
	実績 (%)	62.7	65.5	63.0	67.8	61.0	65.8

※1 R6 実績が判明していないものは評価を「未」とする

- ① 平均寿命と健康寿命は男女いずれも延伸しているが、令和元年をピークに平均寿命と健康寿命の差は男女いずれも縮小傾向となっている（R6の実績がR8年度中に判明するため、評価はできない）
- ② R4の第2期スポーツ推進計画（実施計画）の策定に伴い目標値が見直されたものの目標を下回った

（２）重点指標の達成状況

重点目標6 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
がんによる75歳未満の年齢調整死亡率 【評価】未※2	目標(%)	—	—	—	—	全国平均より5%低い状態	全国平均より5%低い状態
	実績(%)	全国平均より3.1%低い状態	全国平均より0.9%低い状態	全国平均より0.6%低い状態	全国平均より3.9%低い状態	全国平均より5.1%低い状態	(R8.3月)※1
朝食を食べる人の割合 【評価】男性 C 女性 C	目標(%)	—	—	—	—	—	20歳代男性 : 57以上 20歳代女性 : 76以上
	実績(%)	20歳代男性 : ㊦51.4 20歳代女性 : ㊦69.2	20歳代男性 : 57.1 20歳代女性 : 75.8	20歳代男性 : 47.0 20歳代女性 : 64.9	20歳代男性 : 61.3 20歳代女性 : 66.7	20歳代男性 : 54.7 20歳代女性 : 56.2	20歳代男性 : 44.0 20歳代女性 : 53.2
認知症相談医療機関の登録数 【評価】C	目標(箇所)	—	2,186	2,202	2,218	2,234	2,250
	実績(箇所)	2,168	2,138	1,937	1,955	1,731	1,755
75歳以上人口に占める要介護認定率 【評価】未※2	目標(%)	—	—	—	—	—	34.6
	実績(%)	34.3	34.6	34.5	33.8	(R7.8月)※1	(R8.8月)※1
高齢者（65歳～74歳）の有業率 【評価】B	目標(%)	—	—	—	38.3	—	—
	実績(%)	㊦32.7	—	—	37.3	—	—

※1 該当年度において実績値が未判明のものについては判明時期を記載

※2 R6実績が判明していないものは評価を「未」とする

【がんによる75歳未満の年齢調整死亡率】 目標を上回って推移している

【朝食を食べる人の割合】 R1の数値からも大きく低下し、目標を下回った

【認知症相談医療機関の登録数】 R1の数値からも大きく低下し、目標を下回った

【75歳以上人口に占める要介護認定率】 実績が判明していないため評価はできない

【高齢者（65歳～74歳）の有業率】 前回調査（「H29就業構造基本調査」（5年に一度実施））から上昇したが目標値を下回った

IV 実施状況（令和6年度）

戦略1 地域の元気づくり（ひと・まち・産業 元気プログラム）

1 目標

- ① 国を上回る一人当たり県内総生産（GDP）の伸びを維持する
- ② 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合について毎年度、前年を上回る

2 令和6年度の戦略指標達成状況

戦略指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
① 県民一人当たり県内総生産(GDP)の伸び	目標	—	国を上回る 伸びの維持 (H25比)	国を上回る 伸びの維持 (H25比)	国を上回る 伸びの維持 (H25比)	国を上回る 伸びの維持 (H25比)	国を上回る 伸びの維持 (H25比)
	実績 (%)	〔実質〕 国 104.1 県 106.0 〔名目〕 国 109.3 県 110.5	〔実質〕 国 100.4 県 103.1 〔名目〕 国 106.1 県 108.6	〔実質〕 国 103.9 県 107.4 〔名目〕 国 109.8 県 112.7	〔実質〕 国 105.8 県 111.3 〔名目〕 国 112.8 県 117.5	〔実質〕 国 107.0 県 112.3 〔名目〕 国 119.0 県 122.5	〔実質〕 国 108.3 県 112.9 〔名目〕 国 123.9 県 127.3
	評価	—	—/A	—/A	—/A	—/A	—/A
② 住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績 (%)	77.9	75.9	75.9	77.8	79.0	77.3
	評価	—	97.3%/B	99.9%/B	102.4%/A	101.4%/A	97.8%/B

【目標値達成率に対する評価】

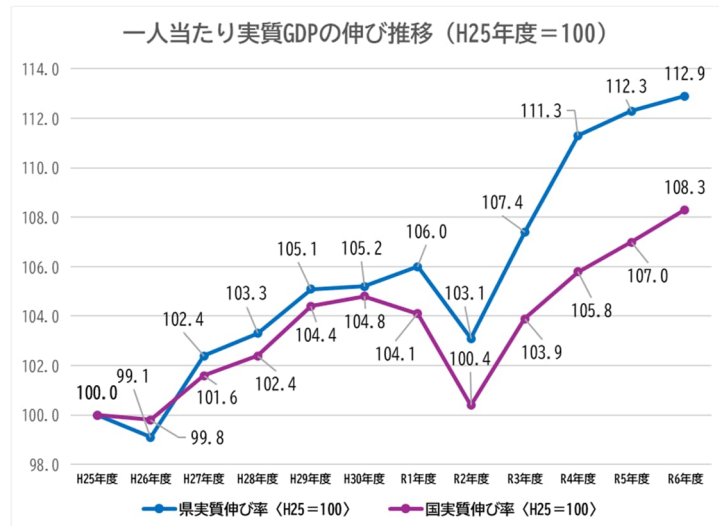
A：100%以上、B：90%以上 100%未満、C：70%以上 90%未満、D：70%未満

〈令和6年度の状況分析〉

- ・一人あたり GDP の伸びは、県は国に比べ製造業が占める割合が高く、新型コロナウイルスの影響からの生産回復等もあり、堅調な伸びが続き、令和2年度以降、県が国の伸びを上回っている。
- ・住んでいる地域にこれからも住みつづけたいと思う人の割合は、令和4、5年度は上昇したものの、令和6年度は数字が若干低下した。

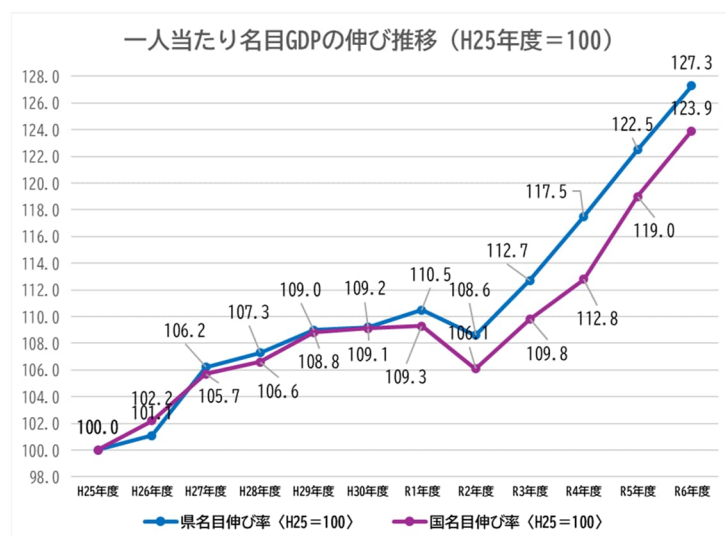
【図表 県内総生産(実質GDP)の推移】

項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
県一人当たりGDP	384万円	380万円	393万円	396万円	403万円	404万円	407万円	396万円	412万円	427万円	431万円	433万円
県実質伸び率〈H25=100〉	100.0	99.1	102.4	103.3	105.1	105.2	106.0	103.1	107.4	111.3	112.3	112.9
県内総生産(実質GDP)	21.3兆円	21.1兆円	21.7兆円	21.9兆円	22.2兆円	22.2兆円	22.3兆円	21.6兆円	22.4兆円	23.1兆円	23.1兆円	23.1兆円
全国一人当たりGDP	418万円	417万円	424万円	428万円	436万円	438万円	435万円	419万円	434万円	442万円	447万円	452万円
国実質伸び率〈H25=100〉	100.0	99.8	101.6	102.4	104.4	104.8	104.1	100.4	103.9	105.8	107.0	108.3
全国実質GDP	532.1兆円	530.2兆円	539.4兆円	543.5兆円	553.2兆円	554.5兆円	550.1兆円	528.7兆円	544.7兆円	552.2兆円	555.8兆円	559.9兆円



【図表 県内総生産(名目GDP)の推移】

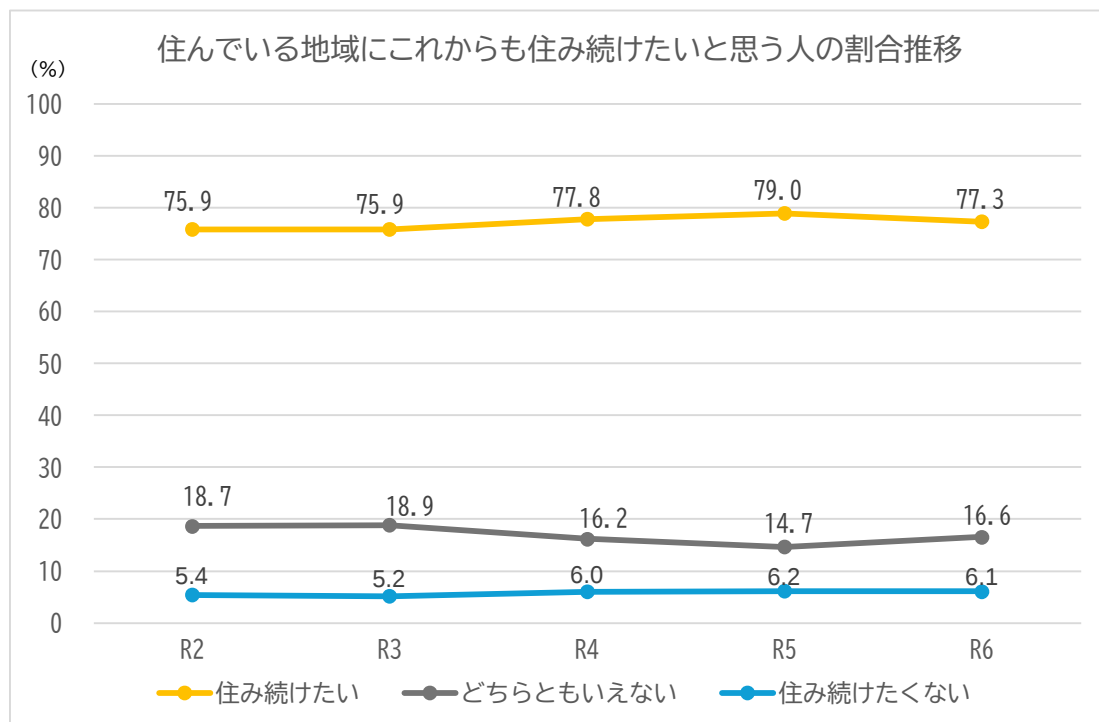
項目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
県一人当たりGDP	370万円	374万円	393万円	397万円	403万円	404万円	409万円	402万円	417万円	434万円	453万円	471万円
県名目伸び率〈H25=100〉	100.0	101.1	106.2	107.3	109.0	109.2	110.5	108.6	112.7	117.5	122.5	127.3
県内総生産(名目GDP)	20.6兆円	20.7兆円	21.7兆円	21.9兆円	22.2兆円	22.2兆円	22.4兆円	21.9兆円	22.6兆円	23.5兆円	24.3兆円	25.1兆円
全国一人当たりGDP	402万円	411万円	425万円	429万円	438万円	439万円	440万円	427万円	442万円	454万円	479万円	498万円
国名目伸び率〈H25=100〉	100.0	102.2	105.7	106.6	108.8	109.1	109.3	106.1	109.8	112.8	119.0	123.9
全国名目GDP	512.7兆円	523.4兆円	540.7兆円	544.8兆円	555.7兆円	556.6兆円	556.8兆円	538.8兆円	554.6兆円	567.3兆円	595.2兆円	617.0兆円



注) 県実績については、県統計課「四半期別兵庫県内GDP速報」による速報値。
 全国実績については、内閣府「四半期別GDP速報」による速報値。

【図表 「住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う人の割合」推移】

区分	R2	R3	R4	R5	R6
住み続けたい	75.9%	75.9%	77.8%	79.0%	77.3%
どちらともいえない	18.7%	18.9%	16.2%	14.7%	16.6%
住み続けたくない	5.4%	5.2%	6.0%	6.2%	6.1%



(出典：兵庫県「兵庫のゆたかさ指標」)

重点目標 1 幅広い産業が元気な兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
開業率 (全国順位)	目標	—	10位以内	10位以内	10位以内	10位以内	10位以内
	実績	9位 [4.51%]	11位 [5.17%]	11位 [4.44%]	12位 [3.83%]	13位 [3.88%]	(R7.10月)※1
	評価	— [10位県]	99.2%/B [5.21%]	98.2%/B [4.52%]	98.7%/B [3.88%]	94.9%/B [4.09%]	[評価不可]
企業立地件数 (H27～累計)	目標 (件)	—	1,094	1,281	1,468	1,655	1,842
	実績 (件)	894	1,051	1,262	1,429	1,571	1,714
	評価	—	96.1%/B	98.5%/B	97.3%/B	94.9%/B	93.1%/B
農林水産業 産出額	目標 (億円)	—	2,571	2,619	2,635	2,651	2,667
	実績 (億円)	2,588	2,528	2,489	2,652	2,982	(R8.3月)※1
	評価	—	98.3%/B	95.0%/B	100.6%/A	112.5%/A	[評価不可]
製造品 付加価値額	目標 (億円)	—	51,283	51,795	52,312	51,937※2	52,456※2
	実績 (億円)	50,786	50,914	54,424	57,918	(R7.8月)※1	(R8.7月)※1
	評価	—	99.3%/B	105.1%/A	110.7%/A	/	[評価不可]
対事業所サービ ス事業所数※3	目標 (社)	—	—	前回調査 を上回る	—	—	—
	実績 (社)	②1,085	—	1,036 [95.5%]	—	—	—
	評価	—	—	95.5%/B	—	—	—

【目標値達成率に対する評価】

A：100%以上、B：90%以上 100%未満、C：70%以上 90%未満、D：70%未満

※1 該当年度において実績値が未判明のものについては判明時期を記載

※2 R5に目標・実績を修正（期間途中の実績根拠調査終了に伴うもの）

※3 情報サービス業、インターネット付随サービス業の合計

項目1 兵庫の強みを活かした産業競争力の強化

(1) 次世代産業の創出

主な事例	次世代の成長産業への重点支援
	- 成長産業分野の事業拡大・新規参入を促進するため、産学官連携による本格的な研究開発への移行を目指す萌芽的な研究プロジェクトを支援(R5: 13 件採択) 「成長産業育成コンソーシアム」の枠組みを活用し、新製品の社会実装を目指す県内中小企業の試作開発を支援(R6: 7 件採択)

(2) ものづくり産業の経営基盤・技術開発の促進

主な事例	ものづくり支援センターの運営
	県下4カ所の「ものづくり支援センター」において産官学連携による共同研究の促進や、先端共同利用機器を活用した中小企業等への技術指導・相談、AI・IoT・ロボットの普及支援等を実施(R5 共同研究: 31 件、R5 技術相談・指導件数: 387 件)

(3) Society5.0 を牽引する産業の集積促進

主な事例	デジタル人材の育成、IT 事業所開設等の支援
	- 兵庫工業会と連携し、県内大学が開発した完全オンデマンド型のDX人材育成プログラムにより、県内企業のDX人材の育成を支援(R5 受講数: 170 件) - 高度IT事業所等の開設を支援し、多様なIT起業家等の集積を促進(R6: 10 件)※ ※開設支援例: 株式会社ズッキン (WEB アプリケーションの企画・開発・運用)

(4) 脱炭素化の推進

主な事例	県内事業者や県民による脱炭素の取組の支援
	- 燃料電池モビリティの普及による脱炭素化の推進を加速化するため、県内の水素ステーションの整備等を促進(実績 水素ST: R2 1 件(姫路)、R4 2 件(神戸・三木)、燃料電池バス: R2 1 件(姫路)、R4 1 件(神戸)) - 県内中小事業者の脱炭素経営に向けた取組支援を行うとともに、PPA 方式による太陽光発電設備導入の支援(R6: 1 件)や地域での再生可能エネルギー立ち上げ支援(R6: 1 件)等を実施 (R5 県内再生可能エネルギー導入実績: 約 73 億 kWh)



IA・リート MK 神戸空港前
水素ステーション

○主な政策アウトカム指標 (上段: 目標、中段: 実績、下段: 評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	中小企業等に対する技術移転件数 [件]	780	800	800	800	700	700
			713	671	723	676	796
			89.1%/C	83.9%/C	90.4%/B	96.6%/B	113.7%/A
2	県内本社企業の海外現地法人売上高 [億円]	32,853	32,955	33,943	34,962	36,011	37,091
			31,123	37,645	45,145	(R7.8月)	(R8.7月)
			94.4%/B	110.9%/A	129.1%/A	-	-
3	県内本社企業の海外展開数 [社]	(R3) 1,050	-	-	-	1,050	1,050
			-	1,050	1,014	1,013	(R7.10月)
			-	-	-	96.5%/B	-

項目2 地域産業の振興

(1) 地域の中小企業の経営基盤強化

主な事例	相談・助言等による中小企業支援
・(公財)ひょうご産業活性化センターを中心に県内支援機関・団体とのネットワークを構築し、ワンストップで企業ニーズに対応する「中小企業支援ネットひょうご」による支援を実施 ・地域の金融機関による事業者への伴走支援(経営改善計画の作成等)に補助を行い、金融機関と協調して中小企業の経営力強化を促進(R6:4,191事業者を支援) ・中小企業の経営課題解決に取り組む中核人材の確保を促進するため、「ひょうご専門人材相談センター」をひょうご産業活性化センターに設置し、民間の人材ビジネス事業者と連携しながら、中小企業と専門人材のマッチングを支援 (R4:125件、R5:153件、R6:200件)	

(2) 地場産業の新たな展開への支援

主な事例	地場産業におけるSDGsの取組への支援
・SDGsの視点から地場産業のブランド価値や魅力向上を図るため、SDGsの取組による商品開発及びプロモーション活動など、産地組合の取組を支援(R5:14件) ・中小企業の経営にSDGsの導入を促進する「ひょうご産業SDGs推進宣言事業」、宣言企業の更なるステップアップを図る「ひょうご産業SDGs認証事業」を実施し、中小企業によるSDGsの取組の裾野を拡大 (宣言企業R6:4,052社、認証企業R6:362社)	



兵庫県靴工業組合のSDGs商品展示とワークショップによる認知度向上(東京)

(3) 商業業務機能の集積促進

主な事例	神戸三宮雲井通5丁目地区の再開発
・新たな交通結節拠点となる中・長距離バスターミナルに加え、商業機能、業務機能及び宿泊機能等からなる複合施設の整備に向け、県と神戸市による調整会議での意見交換や、再開発事業の支援を実施 ・令和元年度の市街地再開発事業の認可を経て令和9年度の完成に向けて事業を推進	



神戸三宮雲井通5丁目地区のイメージ

○主な政策アウトカム指標(上段:目標、中段:実績、下段:評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	地場産業の生産額(主要産地) [億円]	2,382	2,700 維持 1,840 68.1%/D	2,700 維持 2,086 77.3%/C	1,900 維持 2,142 112.7%/A	1,900 維持 (R8.3月) -	1,900 維持 (R9.3月) -
2	商店街活性化等によるしごと創出数(累計)[人]	122	95 76 80.0%/C	190 166 87.4%/C	285 236 82.8%/C	380 302 79.5%/C	475 352 74.1%/C
3	全国企業倒産件数に占める兵庫県の割合 [%]	-	- - -	- - -	- - -	5.3 6.3 81.1%/C	5.3 5.6 94.3%/B

項目3 企業立地・投資の促進

(1) 雇用拡大につながる企業誘致の促進

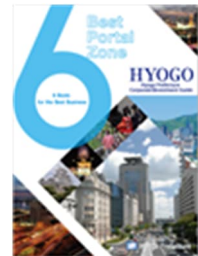
主な事例	産業立地条例による企業誘致の促進
	- 産業の活性化と雇用の創出を図るため、産業立地条例に基づき補助金(設備・雇用・賃料)や税軽減(不動産取得税・法人事業税)により企業の県内立地を支援 (R6 補助団体数：延べ 90 法人) - 水素をはじめとした成長産業の更なる集積やベイエリアの立地促進に向け、取組を拡大
主な事例	ひょうご・神戸投資サポートセンターによる支援
	「ひょうご・神戸投資サポートセンター」「兵庫県ビジネスサポートセンター・東京」でのワンストップ相談により、兵庫県への進出企業をサポート - 首都圏等で開催される各種展示会においてブースを出展し、兵庫県の魅力や優遇制度を効果的に発信することで、企業誘致の促進を図る



Japan Robot Week 2024
(R6. 9. 18～9. 20)

(2) 世界から選ばれる投資環境の整備

主な事例	外国・外資系企業立地の促進等、投資環境の整備
	産業立地条例に基づく補助金や税軽減等の優遇措置のほか、本県の投資環境を紹介したPRツールを活用し、外国・外資系企業の県内立地を促進 (外国・外資系立地件数 R3：131 件、R4：145 件、R5：156 件、R6：166 件)
	【R6 進出事例】 DOSOFTPRO Japan 株式会社 (親会社：ベトナム) 進出場所：神戸市中央区 事業内容：AI 技術を使った製造改善のソフトウェアプログラムの開発 進出時期：R7. 2



外資系企業立地促進
パンフレット

○主な政策アウトカム指標 (上段：目標、中段：実績、下段：評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計 画 期 間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	企業立地件数(本社機能・事務所)(H27～累計) [件]	198	225	272	319	366	413
			259	338	377	412	(R7. 8 月)
			115.1%/A	124.3%/A	118.2%/A	112.6%/A	/
2	企業立地件数(外国・外資系)(H27～累計) [件]	111	142	167	192	217	242
			118	131	145	156	166
			83.1%/C	78.4%/C	75.5%/C	71.9%/C	64.5%/D
3	企業立地件数(IT 事業所)(H27～累計) [件]	40	64	76	88	100	112
			52	65	74	83	93
			81.3%/C	85.5%/C	84.1%/C	83.0%/C	83.0%/C
4	企業立地によるしごと創出数(本社機能・事務所)(H27～累計) [人]	1,783	1,646	1,920	2,194	2,468	2,742
			2,290	2,917	3,504	3,760	(R7. 8 月)
			139.1%/A	151.9%/A	159.7%/A	152.4%/A	/

項目4 起業・創業の適地ひょうごの実現

(1) 有望な起業家の成長支援

主な事例	ひょうご TECH イノベーションプロジェクトの実施
・イノベーションの創出と社会課題の解決を図るため、中小企業や社会課題解決型スタートアップ事業者が有する技術を、市町等が抱える地域課題とマッチングさせる取組を実施（R6実績：18件の課題にスタートアップをマッチング） 【R6年度取組事例】 生活道路における自転車利用者の安全対策 [高砂市×(株)センサズ・アンド・ワース]、介護支援専門員の記録支援等の効率化 [多可町×(株)ウェルモ]、古民家の活用による地域活性化 [神河町×一般社団法人HITOTOTO]	
主な事例	オープンイノベーションの推進
・県内企業とスタートアップ等のオープンイノベーションを推進するため、オープンイノベーションに関するイベントを定期開催し、裾野の拡大を図るとともに、社会課題・地域課題解決に向けた共創による取組を支援（R6イベント参加者数：延べ600名超）	
主な事例	コワーキングスペースネットワーク会議の開催
・起業による新たな価値の創出や事業拡大を図るため、県内コワーキング施設運営者間のネットワーク構築による相互連携促進と利用者への支援機能拡大に向けた「コワーキングスペースネットワーク会議」を開催（R6実績：但馬地域）	



豊岡市での開催の様子



(2) 多様な主体による起業・創業の更なる支援

主な事例	若者の起業や地域課題からの創業への支援
・起業も含め主体的に取り組む若者を育成するため、県内大学と連携した取組に加え、県内各地の中高生を対象に自ら課題を発見し、解決策を考える実践型教育プログラムを実施 ・地域住民や団体等がビジネス的手法により地域課題解決を図る取組を支援する拠点として「地域しごとサポートセンター」を県内6箇所に設置	



R6度スタートアップ
チャレンジ甲子園

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	開業事業所数（経済センサス）[件] ※5年に1度の調査	11,287 ※H28	-	15,700	-	-	-
			-	1,675	-	-	-
			-	10.7%/D	-	-	-
2	開業事業所数(本所・本社・本店)[件] ※5年に1度の調査	891 ※H28	-	1,600	-	-	-
			-	85	-	-	-
			-	5.3%/D	-	-	-
3	起業プラザひょうごの会員数(エリア拠点含む)[人]	92	150	150	150	150	150
			145	191	195	229	235
			96.7%/B	127.3%/A	130.0%/A	152.7%/A	156.7%/A
4	コワーキング・スペース開設件数(累計)[件]	19	27	35	43	51	59
			28	34	38	44	48
			103.7%/A	97.1%/B	88.4%/C	86.3%/C	81.4%/C

項目5 農林水産業の基幹産業化の推進

(1) 農業の競争力強化

主な事例	農業の担い手の確保
・県立農業大学校に「経営として成り立つ有機農業」を学ぶコースを新設（R8.4月開設予定）し、有機農業を担うリーダー等、人材育成を強化 ・企業活力の更なる活用のため、企業ニーズに即した柔軟な伴走支援を実施し、農業者との連携を通じた地域農業への継続的な参画を促進	

(2) 収益性の高い林業の推進

主な事例	主伐による原木の安定供給や再造林の推進
・主伐による持続的な原木供給と、その後の再造林や保育を確実に実行するため、R1～R4に主伐・再造林事業地から施業にかかるコスト等のデータ収集・分析を実施したのち、低コストで効率的な「主伐・再造林低コスト普及モデル」をR5に作成し、R6から普及を推進 （造林事業実施面積 R2:7ha、R3:33ha、R4:31ha、R5:37ha、R6:32ha）	

(3) 水産業の経営強化

主な事例	養殖ノリのクレジット化に向けた検討
・全国トップレベルの生産量を誇る養殖ノリのブルーカーボンとしての可能性や、生産過程のCO₂削減の取組の推進による脱炭素型の「兵庫ノリ」のブランディングに関する検討会を実施。	

(4) 兵庫の農林水産物のブランド力強化

主な事例	ひょうごの「農」「食」輸出拡大の促進
・海外における日本食人気の広がり等を県産品の輸出を進める好機と捉え、香港、フランス、アメリカをターゲットに、食品展示会への出展や日本食材店でのテスト販売などのプロモーションを実施 （R5:31事業者・57品目、R6:13事業者、20品目）	



食品展示会の様子

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	農業産出額(畜産産出額含まず) [億円]	940	1,005 886 88.2%/C	961 866 90.1%/B	967 960 99.3%/B	974 949 97.4%/B	980 (R8.3月) -
2	畜産産出額 [億円]	569	555 592 106.7%/A	614 635 103.4%/A	617 622 100.8%/A	620 728 117.4%/A	623 (R8.3月) -
3	林業・木材産業産出額 [億円]	594	590 562 95.3%/B	594 575 96.8%/B	596 582 97.7%/B	598 696 116.4%/A	600 (R8.3月) -
4	漁業産出額 [億円]	485	471 488 103.6%/A	450 412 91.6%/B	455 488 107.3%/A	459 609 132.7%/A	464 (R8.3月) -
5	海外市場開拓数(品目毎累計) [国・地域]	143	150 153 102.0%/A	160 163 101.9%/A	170 173 101.8%/A	180 183 101.7%/A	190 193 101.6%/A

項目6 多様な主体の連携による活力創出

(1) 多様な主体の連携による活力創出

主な事例	「ひょうご SDGs Hub」を活用した SDGs の推進
	・ 県内企業や団体、教育機関など多様な主体が連携し、「オール兵庫」で社会的課題の解決と地域活性化の両立を図る公民連携組織として設置した「ひょうご SDGs Hub」を軸として、SDGs を「知る」「取り組む」「つなげる」事業を展開 (R7.3月末現在: 1,103 団体) 【R6 主な事業例】 ・ SDGs 普及啓発イベント「ひょうご SDGs Hub ミーティング」、 「SDGs 体感イベント 南兵庫流域祭」を実施 ・ ひょうご SDGs アドバイザリーボードの設置 等
	主な事例 寄附獲得に向けたファンドレイジングの展開 ・ 企業版及び個人版ふるさと納税制度等の効果的な活用を踏まえ、「寄附を通じて地域社会に貢献したい」という寄付者の思いと課題解決を図るプロジェクトを結びつけるため、県内外企業への訪問や PR 動画の制作等、積極的な渉外活動を展開 (R6 寄附実績額: 21.6 億円) 【R6 主なプロジェクト事例】 兵庫県立大学応援プロジェクト ひょうごウクライナ避難民生活支援プロジェクト 等
	主な事例 地域×大学×企業のひょうご絆プロジェクト ・ Z世代の感性や能力、企業のノウハウやテクノロジーを活用し、多自然地域の課題解決に向けて、地域団体と、大学や企業等が連携して実践する地域づくり活動を支援するとともに、それらの取組みの拡大を図るためフォーラム・交流会を実施 【R6 主な事業例】 ・ ひょうご関係人口フォーラム・交流会の開催 (約 150 名参加) ・ 連携活動支援 (10 市町/16 地域)



ひょうご SDGs Hub ミーティング



五国の魅力を詰め込んだおせち



ひょうご関係人口
フォーラム・交流会

重点目標2 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
県内消費額	目標 (億円)	—	14,200	14,700	15,200	[R9に 14,500※1]	[R9に 14,500※1]
	実績 (億円)	13,114	6,821	8,232	11,427	〈参考〉 15,677	〈参考〉 (R7.9月)※2
	評価	—	48.0%/D	56.0%/D	75.2%/C	[参考値]	[参考値]
宿泊者数 (延べ人数)	目標 (万人)	—	1,450 うち外国人 165	1,500 うち外国人 190	—	[R9に1,800 うち外国人 300※1]	[R9に1,800 うち外国人 300※1]
	実績 (万人)	1,442 うち外国人 138	898 うち外国人 18	879 うち外国人 5	1,263 うち外国人 13	〈参考〉 1,513 うち外国人 102	〈参考〉 1,650 うち外国人 153
	評価	—	61.9%/D 10.9%/D	58.6%/D 2.6%/D	[参考値]	[参考値]	[参考値]
来訪者満足度	目標 (%)	—	72	73	—	[R9に 80※1]	[R9に 80※1]
	実績 (%)	62.6	72.9	66.1	63.3	〈参考〉 62.9	〈参考〉 62.8
	評価	—	101.3%/A	90.5%/B	[参考値]	[参考値]	[参考値]
リピーター率 (再訪意向率)	目標 (%)	—	52	53	—	[R9に 70※1]	[R9に 70※1]
	実績 (%)	㊸50.0	53.5	58.5	61.9	〈参考〉 57.6	〈参考〉 56.7
	評価	—	102.9%/A	110.4%/A	[参考値]	[参考値]	[参考値]
一日当たり県内 来訪者数	目標 (千人)	—	373	381	394	402	412
	実績 (千人)	353	336	274	326	—	—
	評価	—	90.1%/B	72.0%/C	82.7%/C	—	—
平均泊数	目標 (泊)	—	—	—	—	[R9に 1.5※1]	[R9に 1.5※1]
	実績 (泊)	1.22	—	—	—	〈参考〉 1.26	〈参考〉 1.25
	評価	—	—	—	—	[参考値]	[参考値]

【目標値達成率に対する評価】

A：100%以上、B：90%以上 100%未満、C：70%以上 90%未満、D：70%未満

※1 R5年度に目標を修正（期間途中の観光分野の観光戦略変更に伴うもの）

※2 該当年度において実績値が未判明のものについては判明時期を記載

項目7 地域資源を活かした交流人口の拡大

(1) 県内外からの誘客促進

主な事例	「ひょうごフィールドパビリオン」等の展開
・ひょうごフィールドパビリオンを構成する SDGs 体験型地域プログラムを認定（R7.3 時点で 260 件）。うち 9 件をプレミア・プログラムとし、積極的に県内外へのプロモーションを実施 ・兵庫テロワール旅を基軸とした観光ブランド力を高めるため、観光コンテンツの磨き上げや受入環境の充実（チラシ等の多言語化、HP 制作など）を支援	 豪州商談会の様子 (海外プロモーション)

(2) 国際ツーリズムの促進

主な事例	インバウンド誘客の推進
・大阪・関西万博を見据え、関西圏への旅行を検討している外国人観光客を取り込むため、デジタルマーケティングによる誘客促進を展開 ・神戸空港国際化などを見据え、魅力ある体験コンテンツの造成及びターゲット国の趣向や興味に応じたプロモーションを展開	 海外 OTA を活用したプロモーション

(3) 観光客受入基盤の整備

主な事例	ユニバーサルツーリズムの推進
・年齢や障害の有無に関わらず様々な人が気兼ねなく旅行を楽しむユニバーサルツーリズムを推進するため、全国初のユニバーサルツーリズム推進条例に基づき、宿泊施設へのソフト・ハード支援などによる受入体制の強化や、モニターツアーなどによる情報発信等を実施 (ユニバーサルなお宿(R7.6 時点)：登録施設 77、宣言施設 140) ・地域を挙げてユニバーサルツーリズムに積極的に取り組む観光地を「ひょうごユニバーサルツーリズム推進エリア」として指定し、地域ぐるみの取組をモデル的に支援 (R6～7：3 地区)	 障害種別ごとに モニターツアーを実施 (画像は体で感じる音楽体験)

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計 画 期 間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	周遊・体験等のコンテンツの開発件数 [件]	-	50	80	100	110	120
			55	87	103	108	112
			110.0%/A	108.8%/A	103.0%/A	98.1%/B	93.3%/B
2	海外プロモーション数(累計) [件]	49	61	73	85	97	109
			57	66	78	90	102
			93.4%/B	90.4%/B	91.8%/B	92.8%/B	93.5%/B

項目8 定住人口・関係人口の創出・拡大

(1) 二地域居住・都市農村交流の促進

主な事例	交流・関係人口の創出
	関係人口の創出・拡大に向け、多自然地域の地域活動等への参加者受入の相談対応やコーディネートを行う「ひょうご関係人口案内所」を運営（R6 登録者：691 名）

(2) 持続可能な多自然地域づくりの推進

主な事例	持続可能な多自然地域づくりに取り組む市町の取り組みの支援
	- 市町の総合的・戦略的な集落対策や集落対策や地域対策等の立ち上げに対して支援を実施（R6 支援数：9 市町） - 市町の地域伴走支援体制の立ち上げに対し支援を実施（R6 支援数：5 市町） - 地域づくり支援人材の育成のため、市町職員階層別研修（R6:4 回・約 150 人参加）および地域再生アドバイザー研修（R6:5 回・約 35 人参加）を実施 - 地域づくりを進める上で有効な市町職員等の支援者向け地域づくり支援ツールを作成（R6:支援者が見立てるツール）

(3) 地域特性に応じた空き家等の有効活用

主な事例	空き家等の活用促進
	- 空家等活用促進特別区域（特区）を指定し、特区における空家の流通・活用に繋がる規制緩和や、古民家の地域交流施設への再生に係る支援を実施（R4 指定：2 地区、R5 指定：3 地区、R6 指定：3 地区） - 空き家を住宅、事業所又は地域交流拠点として活用する場合の改修工事費を支援し、空き家の活用を促進



[[猪名川町大島地区]
柏原の農家住宅と棚田風景が
一体となった景観

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	ひょうご e-県民制度登録者数 [人]	31,076	50,000	65,000	80,000	90,000	100,000
			52,159	74,999	79,627	82,725	82,337
			104.3%/A	115.4%/A	99.5%/B	91.9%/B	82.3%/C
2	地域おこし協力隊活動者数（退任後も含む） [人]	178	190	195	200	205	210
			247	266	305	346	372
			130.0%/A	136.4%/A	152.5%/A	168.8%/A	177.1%/A
3	空き家活件数（県・市町の統合指標） [件]	231	100	100	100	100	100
			324	310	380	354	402
			324.0%/D	310.0%/D	380.0%/A	354.0%/A	402.0%/A

項目9 交流を支える交通基盤の充実

(1) 交流を支える交通基盤の充実

主な事例	高規格道路ネットワークの整備推進
- 東播磨道(延長 12.1km)のうち、加古川中央ジャンクション～八幡三木ランプの 7.7km が開通。R7 年秋頃の全線開通に向けて工事を推進 - 山陰近畿自動車道「浜坂道路Ⅱ期」について、R6 年度はトンネル、橋梁等の施工を進め、全線開通に向けて工事を推進 - 播磨臨海地域道路では、R5、R6に都市計画決定に向けた住民説明会及び個別説明会を実施(5市1町、計88回)	 東播磨道(北工区)
主な事例	県内空港の活用による交流人口の拡大
- 航空業界を取り巻くトピックスセミナーの開催を通じ、関西 3 空港の魅力や可能性を広く発信することで最大活用に向けた地元機運を醸成 - 但馬地域の交流人口拡大を目指し、コウノトリ但馬空港と地方空港を結ぶチャーター直行便ツアーを実施	 松山空港から到着した旅行者
主な事例	JRローカル線維持・利用促進に向けた取組
- 日常利用増加に向け、定期券購入助成、特急利用助成、パーク＆ライド等の取り組みを沿線市町において実施 - 観光需要を喚起するため、観光列車「はなあかり」のお出迎えや、駅周辺でのイベント等を沿線市町や県民局、地元観光協会等と連携して実施	 久下村夜市の賑わい (R7.3.7 @久下村駅)

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	基幹道路延長に対する供用延長割合(累計) [%]	82	83	84	84	84	87
			83	84	85	85	85
			100.0%/A	100.0%/A	101.2%/A	101.2%/A	97.7%/B
2	但馬空港の旅客数 [万人]	4.1	4.7	3.1	4.5	4.7	4.8
			1.6	2.1	3.0	3.9	3.6
			34.0%/D	67.7%/D	66.7%/D	83.0%/C	75.0%/C

重点目標3 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
住んでいる市町で芸術文化に接する機会があると思う人の割合 R4～暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている人の割合	目標(%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績(%)	38.2	38.2	37.1	39.0	37.6	39.2
	評価	—	100%/A	97.1%/B	105.1%/A	96.4%/B	104.3%/A
住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思ふ人の割合	目標(%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績(%)	73.2	71.8	72.8	69.6	68.8	69.0
	評価	—	98.0%/B	101.0%/A	95.6%/B	98.9%/B	100.3%/A
CEFR A1 レベル相当以上(英検準2級～3級相当)の英語能力を有すると思われる中学3年生の割合	目標(%)	—	42	44	46	50	50
	実績(%)	㊤40.8	44.2	41.6	46.2	42.3	38.7
	評価	—	105.2%/A	94.5%/B	100.4%/A	84.6%/C	77.4%/C
CEFR A2 レベル相当以上(英検2級～準2級相当)の英語能力を有すると思われる高校3年生の割合	目標(%)	—	50	50	50	50	50
	実績(%)	㊤48.5	52.9	53.8	54.8	57.2	56.2
	評価	—	105.8%/A	107.6%/A	109.6%/A	114.4%/A	112.4%/A
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	目標(%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績(%)	小学校:84.6 中学校:69.7	全国調査中止	小学校:80.5 中学校:66.8	小学校:79.7 中学校:65.5	小学校:81.4 中学校:65.1	小学校:81.9 中学校:64.2
	評価	—	—	—	小 99.0%/B 中 98.1%/B	小 102.1%/A 中 99.3%/B	小 100.6%/A 中 98.6%/B
将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合	目標(%)	—	67	68	69	70	70
	実績(%)	64.7	68.4	68.9	67.5	66.5	65.5
	評価	—	102.1%/A	101.3%/A	97.8%/B	95.0%/B	93.5%/B
住んでいる地域は、高齢者にも障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合	目標(%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績(%)	37.6	42.3	43.1	42.5	40.0	36.0
	評価	—	112.2%/A	101.7%/A	98.6%/B	94.1%/B	90.0%/B
住んでいる地域の自然環境は守られていると思う人の割合	目標(%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績(%)	47.3	52.1	47.5	53.4	55.2	53.2
	評価	—	109.9%/A	91.2%/B	112.4%/A	103.3%/A	96.4%/B

【目標値達成率に対する評価】

A：100%以上、B：90%以上100%未満、C：70%以上90%未満、D：70%未満

※1 該当年度において実績値が未判明のものについては判明時期を記載

項目 10 豊かな文化が息づき、にぎわいあふれる地域づくり

(1) 芸術文化が身近に感じられる地域づくり

主な事例	芸術文化に親しむ機会の充実
・ 県民の芸術文化に触れる機会充実のため、県内の芸術文化施設を無料開放等する「ひょうごプレミアム芸術デー」について、ナイトミュージアムなど新たな催しも取り入れて開催(R6 実施期間: 7/9~7/15) ・ 伝統文化に触れる機会の充実のため、県内の小・中・高校に講師を派遣する体験教室を実施	 ひょうご プレミアム芸術デー

(2) にぎわいが感じられるまちづくりの推進

主な事例	オールドニュータウンの再生や県立都市公園の利便性向上
・ 地域住民組織による自主的運営の実現に向け、明舞団地をモデルとして進めることで、地域主体の再生モデルの一つとして、他のニュータウンへの普及を促進 ・ 多言語デジタルガイドを導入した3公園へ無料 Wi-Fi を設置	 明舞団地内建物のリノベーション により整備した民営図書室

(3) 豊かな環境の保全と創造

主な事例	身近に自然が感じられる地域づくりの推進
・ 「兵庫県栄養塩類管理計画(R4. 10 策定)」に基づき、計画的な栄養塩類供給に伴う水質の状況検証や、新たな栄養塩類供給方策の調査・研究等を実施 ・ 豊かで美しい海の創出と継承に向けた取組を推進するため、「ひょうご豊かな海づくり県民会議」を R5 に設立し、県民参加型イベントを支援する等、公民連携による県民総参加の運動を展開	 ひょうご豊かな海づくり 推進大会

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計 画 期 間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	舞台芸術のアウトリーチ活動の実施回数 [回]	65	73	75	76	77	78
			38	60	65	60	66
			52.1%/D	80.0%/C	85.5%/C	77.9%/C	84.6%/C
2	住んでいる都市が快適で魅力的だと思う人の割合[%]	55.0	56	57	58	59	60
			57.0	57.5	53.5	52.4	51.7
			101.8%/A	100.9%/A	92.2%/B	88.8%/C	86.2%/C
3	住んでいる地域で自慢したい地域の宝(風景・産物・文化等)があると思う人の割合 [%] ※R4~ 市町→地域に変更	51.6	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			55.2	54.3	42.4	42.0	40.9
			106.9%/A	98.3%/B	78.0%/C	99.1%/B	98.4%/B
4	人口集中地区の緑地率[%] ※5年に1度の調査	24.6 ※H30	24.2	-	-	-	(R7 25.0)
			24.6	-	-	-	-
			101.7%/A	-	-	-	-

項目 11 安全安心で、快適に暮らせる地域づくり

(1) 安全安心に暮らせるまちづくり

主な事例	地域医療体制の充実
- 県内に定着する医師の増加や地域偏在の解消を図るため、神戸大学、兵庫医科大学等において、へき地等勤務医師を養成し、医師が不足する地域へ派遣(R6 派遣:160 人) - 県内のへき地診療所の医師の高齢化に対応し、へき地医療を維持するため、市町と連携し、オンライン診療の活用に向けた地域実証モデル事業を実施	 医療MaaSによる オンライン診療
主な事例	地域防犯力の向上
過去最悪のペースで増加する特殊詐欺被害の対策として、自動録音機能付電話機等の機器購入費への補助事業(市町補助)や被害防止対策キャンペーンを実施	 被害防止対策キャンペーン

(2) 防災・減災対策の総合的推進

主な事例	阪神・淡路大震災 30 年事業を通じた地域防災力の向上
阪神・淡路大震災から 30 年の節目を迎え、犠牲となられた方々へ哀悼の誠を捧げるとともに、安全・安心な社会づくりに向けて歩む決意を発信するため、阪神・淡路大震災 30 年追悼式典を実施	 阪神・淡路大震災 30 年 追悼式典

(3) 地域生活を維持する革新的技術の普及促進

主な事例	空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組
空飛ぶクルマの社会実装に向け、事業者による開発を促進するため、県内フィールドを活用した実証事業等を支援 (R6 実績: 6 件の実証事業を補助)	 空飛ぶクルマ実証事業 (出典)経済産業省

○主な政策アウトカム指標(上段:目標、中段:実績、下段:評価)

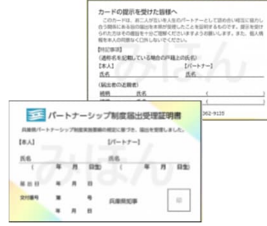
番号	指標名	R1 (参考)	計 画 期 間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	へき地等勤務医師の養成数 [人]	217	236	246	263	263	263
			236	246	262	274	289
			100.0%/A	100.0%/A	99.6%/B	104.2%/A	109.9%/A
2	治安が良く安心して暮ら せると思う人の割合 [%]	79.4	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			82.8	79.6	70.3	64.5	68.0
			104.2%/A	96.1%/B	88.3%/C	91.7%/B	105.4%/A
3	災害に備えて飲料水や食料 品の備蓄をしている人の割 合 [%]	74.4	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			76.4	77.7	78.5	74.5	80.1
			102.6%/A	102.0%/A	101.0%/A	94.9%/B	107.5%/A

項目 12 次代の人材が育ち、誰もが力を発揮できる地域づくり

(1) 次代を担う人材を育成する教育力の強化

主な事例	高校生チャレンジ留学～HYOGO 高校生「海外武者修行」応援プロジェクト～
兵庫で学び、グローバルな視点・能力をもった国際的に活躍する若者の育成のため、新たに留学先での個々の学びを深めるためチャレンジする高校生を官民協働で支援 (R6 支援人数：10 人)	 R6 年度チャレンジ留学帰国後報告会

(2) 全員活躍社会の構築

主な事例	ユニバーサル社会の実現
- 東京 2020 パラリンピック競技大会で醸成された機運やレガシーを絶やさず、パラスポーツの振興を図るため、神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会の開催を支援 - 性的マイノリティの当事者が抱える生活上の困難や不安を軽減・解消するなど県民誰もが安心して暮らせる環境づくりに向けて、兵庫県パートナーシップ制度の運用等を実施	 パートナーシップ制度 届出受理証明書

(3) 多文化共生社会の実現

主な事例	誰もが暮らしやすい生活基盤づくり
日本での日常生活に不慣れな外国人県民の生活相談ニーズ等に応えるため、ひょうご多文化共生総合相談センターを設置・運営し、相談員等による対応言語のほか、電話による外部通訳等を活用した 22 言語で対応	 センターでの相談の様子

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	英語の勉強が好きだと回答した生徒の割合 [%]	56.7	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			-	57.9	-	53.0	-
			-	-	-	91.5%/B	-
2	キャリアノート等を中学校へつなげている学校の割合 [%]	63.1	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			75.6	93.4	100.0	100.0	100.0
			119.8%/A	123.5%/A	107.1%/A	100%/A	100%/A
3	企業等に勤める外部人材を招いた授業(講演会を除く)を実施した学校の割合 [%]	—	—	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る	前年を上回る
			53.1	55.1	66.0	71.4	73.5
			-	103.8%/A	119.8%/A	108.2%/A	103.0%/A
4	仕事と生活の調和推進企業認定件数(累計) [社]	244	300	360	420	480	540
			300	365	437	510	572
			100.0%/A	101.4%/A	104.0%/A	106.3%/A	106.9%/A
5	就労系障害福祉サービス利用者数(累計) [人]	16,471	17,372	19,094	20,278	21,565	-
			17,446	18,451	20,580	22,179	(R7.8 月)
			100.4%/A	96.6%/B	101.5%/A	102.8%/A	/
6	障害者雇用率(法定雇用率) [%]	2.20	2.20	2.30	2.30	2.30	2.50
			2.21	2.25	2.28	2.36	2.47
			100.5%/A	97.8%/B	99.1%/B	102.6%/A	98.8%/B
7	住んでいる地域が外国人にも暮らしやすくなっていると思う人の割合 [%]	25.7	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
			29.5	30.5	23.0	22.7	21.6
			113.5%/A	113.0%/A	82.1%/C	78.3%/C	75.7%/C

戦略2 社会増対策（社会減ゼロ プログラム）

1 目標

- ① 2024年までに日本人社会減ゼロを目指す
- ② 20歳代前半の日本人若者の県内定着率93.0%を目指す
- ③ 5年間で25,000人の外国人の増加を目指す

2 令和6年度の戦略指標達成状況

戦略指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
① 日本人の 転入超過数	目標 (人)	—	▲4,449	▲2,669	▲1,068	▲214	0
	実績 (人)	▲7,260	▲7,523	▲6,220	▲5,990	▲7,004	▲7,324
	評価	—	—/D	—/D	—/D	—/D	—/D
② 20歳代前 半の若者定着 率93.0%を目 指す	目標 (%)	—	92.2	92.4	92.6	92.8	93.0
	実績 (%)	92.0	91.5	91.5	91.4	91.3	91.2
	評価	—	99.2%/B	99.0%/B	98.7%/B	98.4%/B	98.1%/B
③ 外国人の増 加数（累計）	目標 (人)	—	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000
	実績 (人)	1,222 (単年)	3,446	4,126	17,080	27,600	39,340
	評価	—	68.9%/D	41.3%/D	113.9%/A	138.0%/A	157.4%/A

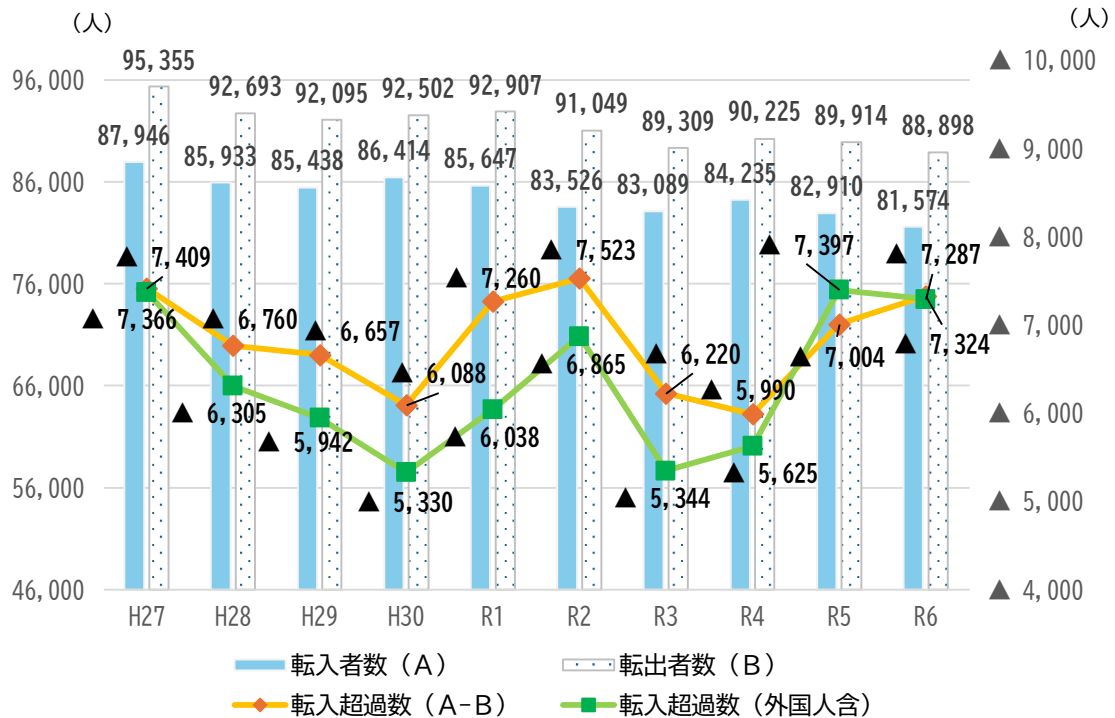
【目標値達成率に対する評価】

A：100%以上、B：90%以上100%未満、C：70%以上90%未満、D：70%未満

〈令和6年度の状況分析〉

- ・令和6年住民基本台帳移動報告における日本人の社会減（国際移動含む）は▲7,324人で、平成24年以降転出超過が継続。
- ・新卒者の就職に伴う転出が大きな要因となり、20歳代前半の若者定着率はほぼ横ばいで推移。
- ・新型コロナウイルスの5類感染症への移行及び入国制限緩和措置以降、外国人転入者数は増加傾向。

【兵庫県の転出入の状況】



(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

【人口移動（社会増減）の推移（日本人）】

(単位：人)

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
転入超過 (A-B)	▲ 7,409	▲ 6,760	▲ 6,657	▲ 6,088	▲ 7,260	▲ 7,523	▲ 6,220	▲ 5,990	▲ 7,004	▲ 7,144
転入数 (A)	87,946	85,933	85,438	86,414	85,647	83,526	83,089	84,235	82,910	81,754
転出数 (B)	95,355	92,693	92,095	92,502	92,907	91,049	89,309	90,225	89,914	88,898
転入超過 (国際移動を含む)	-	-	-	-	-	▲ 4,735	▲ 6,429	▲ 7,033	▲ 8,298	▲ 7,365

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

【対東京圏・大阪府・西日本の転入超過の状況】

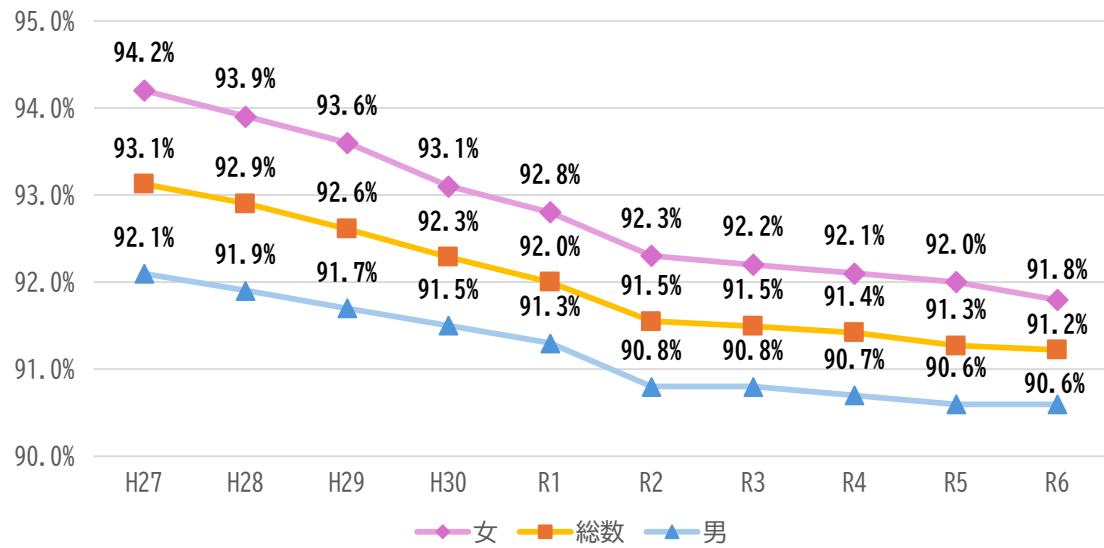
(単位：人)

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
東京都	▲ 4,955	▲ 4,606	▲ 4,742	▲ 5,260	▲ 5,465	▲ 3,904	▲ 3,631	▲ 3,769	▲ 4,246	▲ 4,718
東京圏	▲ 7,490	▲ 7,203	▲ 7,356	▲ 8,102	▲ 8,716	▲ 6,315	▲ 5,521	▲ 5,765	▲ 6,897	▲ 7,046
大阪府	▲ 2,240	▲ 2,069	▲ 1,791	▲ 2,134	▲ 3,302	▲ 4,579	▲ 2,812	▲ 2,824	▲ 4,078	▲ 4,294
西日本	2,372	2,717	2,142	3,333	3,441	2,281	2,071	1,897	2,945	3,220

(出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」)

(注：東京圏＝東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県、西日本＝兵庫県以西)

【20 歳代前半の若者の県内定着率（日本人）の推移】



区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
総数（20～24歳）	268,020	265,025	264,519	264,023	265,294	263,157	263,321	261,000	258,987	253,779
他自治体への転出者数	18,430	18,814	19,549	20,367	21,227	22,244	22,395	22,392	22,609	22,282
転出率	6.9%	7.1%	7.4%	7.7%	8.0%	8.5%	8.5%	8.6%	8.7%	8.8%
定着率	93.1%	92.9%	92.6%	92.3%	92.0%	91.5%	91.5%	91.4%	91.3%	91.2%

（出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、「住民基本台帳人口移動報告」）

【外国人の人口移動（社会増減）転入超過の推移】

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
転入超過（A-B）	43	455	710	758	1,222	658	876	365	▲ 393	37
転入（A）	5,153	5,711	7,100	7,631	9,001	7,646	8,500	10,334	10,014	10,796
転出（B）	5,110	5,256	6,390	6,873	7,779	6,988	7,624	9,969	10,407	10,759
転入超過（国際移動含む）	-	-	-	-	-	3,446	680	12,954	10,520	11,740

（出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」）

重点目標4 自分らしく働ける兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
20～30 歳代の若者の転入超過数 (日本人)	目標 (人)	—	▲6,112	▲4,584	▲3,056	▲1,528	±0
	実績 (人)	▲7,640	▲8,858	▲7,682	▲7,988	▲8,294	▲7,893
	評価	—	—/D	—/D	—/D	—/D	—/D
新たに農業、林業、漁業に就いた者の数	目標 (人)	—	480	375	375	375	375
	実績 (人)	325	399	371	382	364	(R7.8月)
	評価	—	83.1%/C	98.9%/B	101.9%/A	97.1%/B	/
外国人材(専門的・技術的分野、特定技能、技能実習生)の受入数	目標 (人)	—	19,230	23,100	27,100	31,000	35,000
	実績 (人)	19,737	21,559	21,050	23,957	28,783	34,079
	評価	—	112.1%/A	91.1%/B	88.4%/C	92.8%/B	97.4%/B

【目標値達成率に対する評価】

A：100%以上、B：90%以上 100%未満、C：70%以上 90%未満、D：70%未満

項目1 地元就業の促進

(1) 県内就業意識の高揚

主な事例	高校・大学と連携した取組
- 県内企業の魅力を知り、地元企業への就職を意識づけするため、大学生等を対象としたインターンシップや、参画企業との交流会を開催 (参加学生 R4：525人、R5：538人、R6：577人) - 就職を希望する高校生及び進路指導担当教員向けのセミナー等を実施し、高校生のキャリア形成支援と県内企業への若手人材の就職・定着を推進 (参加生徒 R6：1,103人 参加教員 R6：172人)	

(2) 地元企業と若者のマッチング強化

主な事例	県内企業と若者のマッチング強化
- 中小企業の人材確保や若者の県内就職・定着を図るため、「兵庫型奨学金返済支援制度」を設け、若手従業員の奨学金返済を支援している企業とその従業員に対し、補助を実施 - 大学等卒業時の地元就職と県外からのUJIターン就職の促進を図るため、県内のワーク・ライフ・バランスやSDGs推進企業等の魅力を知ってもらう合同企業説明会等を開催	



奨学金返済支援制度

(3) 女性活躍の推進

主な事例	ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)認定制度の普及推進
- 女性活躍に積極的に取り組む企業を「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)」として認定し、若者等に PR することで県内企業への就職を促進(R6 認定企業数：59 社) - 認定制度のさらなる普及促進を図るため、より取り組みやすい新たな認定区分「フレッシュミモザ企業」を創設(R6 認定企業数：85 社)するとともに、ミモザ企業への就職促進のため、女子学生とのマッチングの機会を提供	 女子学生とミモザ企業とのマッチング

(4) 農林水産業の担い手育成

主な事例	新規就農者へのサポート
- 農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、経営発展のための機械・施設等の導入を支援するとともに、就農に向けた研修資金、経営開始資金を交付(R5 交付件数：312 件、R6 交付件数：283 件) - 多額の初期投資が必要となる施設園芸への新規参入・規模拡大がしやすい環境の整備を図るため、JA 等が園芸施設等を整備し、新規就農者等へ貸与する取組を支援	 JA 等が整備した園芸施設

(5) 雇用拡大につながる企業誘致の促進【再掲】

○主な政策アウトカム指標(上段：目標、中段：実績、下段：評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計 画 期 間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	県内大学生の県内就職希望率 [%]	65.5	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0
			66.0	72.8	75.6	73.9	75.6
			100.0%/A	108.7%/A	111.2%/A	107.1%/A	108.0%/A
2	県内大学卒業生の県内企業への就職率 [%]	28.2	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0
			29.8	29.4	28.8	28.2	27.9
			90.3%/B	89.1%/C	87.3%/C	85.5%/C	84.5%/C
3	若者(20 歳代)の転入超過数 [人]	▲ 7,098	▲5,678	▲4,259	▲2,839	▲1,420	±0
			▲8,832	▲7,962	▲8,327	▲8,578	▲8,017
			— /D	— /D	— /D	— /D	— /D
4	若年女性(20 歳代)の転入超過数(上記の内数) [人]	▲ 2,890	▲2,312	▲1,734	▲1,156	▲578	±0
			▲3,697	▲3,117	▲3,513	▲3,670	▲3,592
			— /D	— /D	— /D	— /D	— /D
5	中小企業における「一般事業主行動計画」(女性活躍に関する目標・取組)の策定率(累計) [%]	3.1	50.0	60.0	100.0	100.0	100.0
			4.9	17.5	99.3	98.7	(R7.8 月)
			9.8%/D	29.2%/D	99.3%/B	98.7%/B	%/
6	農業分野のしごと創出数 [人]	243	400	300	300	300	300
			299	268	270	272	282
			74.8%/C	89.3%/C	90.0%/B	90.7%/B	94.0%/B

項目2 UJI ターンの促進

(1) 第二新卒者等、若年層の UJI ターンの支援

主な事例	首都圏在住の求職者や学生などに対する県内就職等の促進
・首都圏における兵庫県への移住促進の拠点「カムバックひょうご東京センター」に、民間事業者に運営を委託した就職相談窓口を併設し、UJI ターン就職に関する PR 強化や、ニーズを踏まえたイベント等を実施（R6 相談件数：295 件） ・「ひょうごで働こう!マッチングサイト」の運営をはじめ、首都圏の学生等の県内就職促進、移住支援金・地方就職支援金の支給による東京 23 区からの就業・移住を促進 ・首都圏在住の求職者等の県内企業への職場体験を支援するとともに、首都圏参加者を正規採用した企業に対して支援金を支給	 就職相談の様子  ひょうご仕事 GPS!の様子

(2) 移住対策の強化

主な事例	移住・定住に向けた県内地域の魅力発信
・コロナ禍を契機とした地方回帰志向の高まりや、近年の本県におけるファミリー層の転入超過傾向等の機を踏まえ、東京・神戸・大阪に設置している移住相談窓口「カムバックひょうごセンター」の体制を強化※するとともに、主に首都圏の関心層をターゲットとした首都圏での県単独移住フェアの実施やセミナー等の民間委託化・回数の充実等を図り、県内地域の魅力 PR を強化 ※東京窓口の相談員を増員(1→2 名)、大阪窓口の相談日を拡充 等 ・兵庫に関心を持つ方なら誰でも登録可能な「ひょうご e-県民制度」を運営し、若者・子育て世代に向けた地域の魅力発信や、SNS を活用した情報発信を実施	 カムバックひょうご東京センター  県単独移住フェア(東京)の様子

(3) シビックプライドの醸成

主な事例	地域への誇りや愛着の醸成
・子どもたちのさらなる「ふるさと」意識の醸成を図るため、ひょうごフィールドパビリオンを活用したモデルコースを作成し、校外学習や体験活動での活用を促進	 ひょうごフィールドパビリオン 学校用モデルコースリーフレット

(4) 地域特性に応じた空き家等の有効活用【再掲】

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計 画 期 間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	県の支援による UJI ターン 就職者数 [人]	722	650	700	750	800	850
			677	774	1,086	1,074	(R7.8月)
			104.2%/A	110.6%/A	144.8%/A	134.3%/A	%/
2	カムバックひょうごセンタ ー移住相談件数 [件]	5,880	5,800	6,400	7,000	7,600	8,200
			798	1,180	888	1,037	1,044
			13.8%/D	18.4%/D	12.7%/D	13.6%/D	12.7%/D
3	移住施策によって県外から 転入した人の数(累計/県・ 市町の統合指標) [人]	674	400	800	1,200	1,600	2,000
			913	1,671	2,704	4,029	5,851
			228.3%/A	208.9%/A	225.3%/A	251.8%/A	292.6%/A
4	ひょうご e-県民登録者数 (県外) [人]	19,855	35,000	45,000	55,000	60,000	65,000
			30,317	36,642	38,803	37,804	36,833
			86.6%/C	81.4%/C	70.6%/C	63.0%/D	56.7%/D

項目3 外国人材の活躍推進

(1) 高度外国人材の受け入れ促進

主な事例	外国人留学生の県内企業への就職促進				
高度な技術力や知識を有する外国人留学生の県内就職を促進するため、留学生の採用を検討する県内企業や留学生本人からの相談に対応し、採用から採用後の職場定着までを支援する「外国人留学生採用ワンストップ相談窓口」を設置					
相談件数：260 件(令和6年度) <table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">[外国人留学生]</td> <td>122 件(121 人)</td> </tr> <tr> <td>[企業・経済団体等]</td> <td>138 件(136 団体)</td> </tr> </table>  相談窓口の開所式(R5. 5. 12)		[外国人留学生]	122 件(121 人)	[企業・経済団体等]	138 件(136 団体)
[外国人留学生]	122 件(121 人)				
[企業・経済団体等]	138 件(136 団体)				
県内中小企業の人手不足に対応するため、県内外の外国人留学生を対象とした「兵庫の企業魅力発信フェア」や「合同企業説明会」等、県内企業とのマッチング機会を創出し、人材確保対策を実施					
企業における円滑な外国人雇用を支援するため、セミナーを通じた制度の理解促進や、サポートデスクによる相談対応等を実施					



合同企業説明会の様子

(2) 外国人材の県内定着の促進

主な事例	外国人の就職・定着に向けた支援
外国人が安心して就職・定着できるよう、外国人を雇用する県内企業の取組をチェックリスト方式で見える化する外国人雇用に関する企業認定制度創設に向けて検討（R7年度下期運用開始予定）	
R7年度にベトナム現地で開催予定の県内企業と大学生のマッチングを図るキャリアフェアに先がけ、県内企業とベトナム現地をオンラインでつなぎ、現地学生等と交流する外国人材採用キャリアフェア・プレイバントを開催	



キャリアフェア
プレイバント
(R7. 3. 13)

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	外国人材の受入数(専門的・技術的分野) [人]	7,881	7,400	8,550	9,700	10,850	12,000
			8,771	10,076	12,809	15,658	19,524
			118.5%/A	117.8%/A	132.1%/A	144.3%/A	162.7%/A
2	外国人材の受入数(特定技能) [人]	50	2,400	4,800	7,200	9,600	12,000
			853	2,548	5,052	7,619	10,069
			35.5%/D	53.1%/D	70.2%/C	79.4%/C	83.9%/C
3	県立大学の海外留学生数(受入人数) [人]	224	350	350	250	250	250
			234	231	256	266	275
			66.9%/D	66.0%/D	102.4%/A	106.4%/A	110.0%/A
4	県内中小企業等に就職した留学生数 [人]	659	600	600	600	600	600
			854	1,002	1,089	1,029	(R7. 12 月)
			142.3%/A	167.0%/A	181.5%/A	171.5%/A	-
5	住んでいる地域が外国人にも暮らしやすくなっていると思う人の割合 [%]	25.7	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
			29.5	30.5	23.0	22.7	21.6
			113.5%/A	113.0%/A	82.1%/C	78.3%/C	75.7%/C

戦略3 自然増対策（子ども・子育て対策）（婚姻数拡大 プログラム）

1 目標

- ① 2024年まで合計特殊出生率1.41を維持する（R1:1.41）
- ② 結婚したいという希望を叶え、2024年に婚姻数27,000件を目指す

2 令和6年度の戦略指標達成状況

戦略指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
① 合計特殊出生率	目標 (%)	—	1.41	1.41	1.41	1.41	1.41
	実績 (%)	1.41	1.39	1.36	1.31	1.29	1.23
	評価	—	99.3%／B	96.5%／B	92.9%／B	91.5%／B	87.2%／C
② 婚姻件数	目標 (件)	—	25,000	25,500	26,000	26,500	27,000
	実績 (件)	25,109	21,964	20,938	20,844	19,629	19,675
	評価	—	87.9%／C	82.1%／C	80.2%／C	74.1%／C	72.9%／C

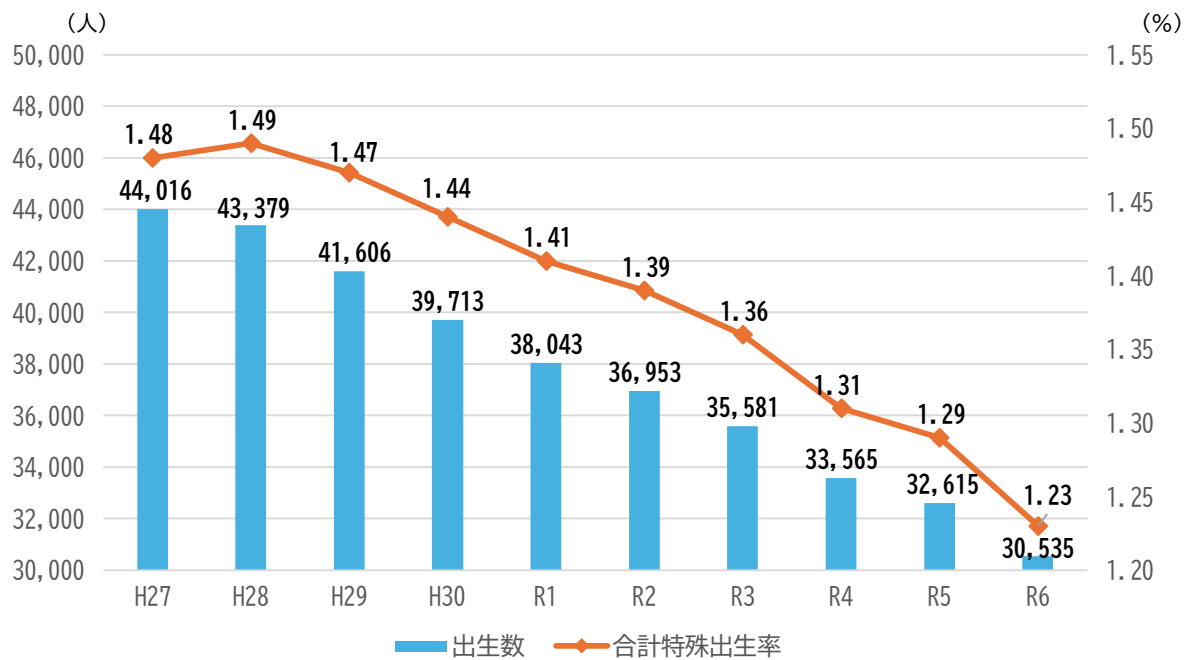
【目標値達成率に対する評価】

A：100%以上、B：90%以上 100%未満、C：70%以上 90%未満、D：70%未満

〈令和6年度の分析状況〉

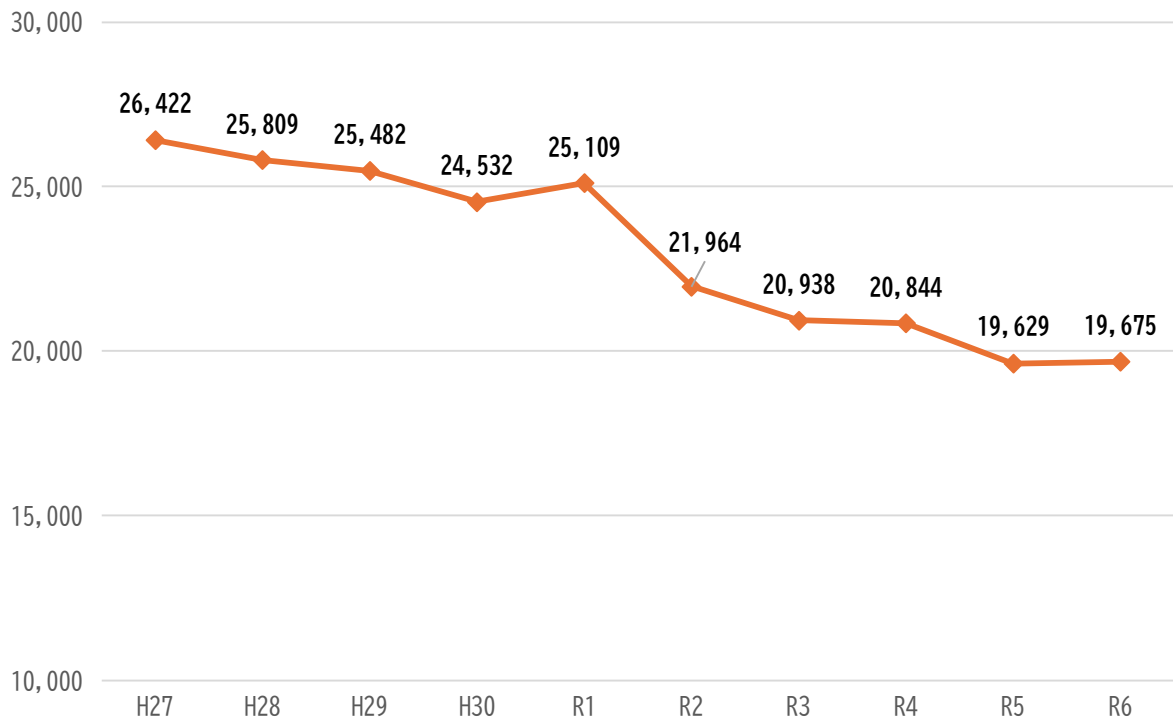
- ・ 合計特殊出生率は、晩婚化、晩産化等により平成28年度の1.49をピークに低下が続き、令和6年は前年比0.06ポイント減の1.23（概数ベース）となり、平成29年から8年連続で低下した。
- ・ 婚姻件数は、令和元年度は令和婚の影響もあり増加となったが、令和2年以降は減少傾向。

【出生数と合計特殊出生率の推移】



（出典：厚生労働省「人口動態調査」）

【婚姻件数の推移】



（出典：厚生労働省「人口動態調査」）

重点目標5 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
結婚願望がある者の割合	目標 (%)	—	—	—	—	66.6	—
	実績 (%)	③60.5	—	—	—	39.1	—
	評価	—	—	—	—	58.7% / D	—
住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合	目標 (%)	—	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	実績 (%)	55.4	58.3	58.8	55.5	52.4	54.4
	評価	—	105.0% / A	100.8% / A	95.2% / B	94.4% / B	98.0% / B
保育所等待機児童数	目標 (人)	—	0	0	0	0	0
	実績 (人)	1,569	769	311	241	256	199
	評価	—	— / D	— / D	— / D	— / D	— / D
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の待機児童数	目標 (人)	—	0	0	0	0	0
	実績 (人)	954	911	923	1,015	992	1,151
	評価	—	— / D	— / D	— / D	— / D	— / D

【目標値達成率に対する評価】

A：100%以上、B：90%以上 100%未満、C：70%以上 90%未満、D：70%未満

項目1 結婚のきっかけづくり

- (1) 出会い・結婚支援の充実
- (2) 結婚や子育てが楽しいと思える意識の醸成

主な事例	出会い・結婚支援の充実
・少子化の要因である晩婚化・未婚化の進行への対策として、出会いや結婚を望む方を支援するため、「ひょうご出会いサポートセンター」を設置し、AIによるマッチングシステムを活用した個別お見合い支援や、民間事業者・市町と連携した出会いイベント等の取組を実施 (R6 会員登録者数：3,489 人、R6 成婚数：69 組) ・新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコスト(新居の家賃、引っ越し費用等)を支援する市町を対象に、支援額の一部を補助 (R5：21 市町で実施、R6：23 市町で実施)	



出会いイベントの様子

- (3) 県内就業意識の高揚【再掲】
- (4) 地元企業と若者とのマッチング強化【再掲】
- (5) 女性活躍の推進【再掲】

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計 画 期 間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	出会いイベントの参加者数 [人]	4,782	7,000	7,000	2,000	4,000	6,000
			1,943	2,099	1,907	1,290	1,127
			27.8%/D	30.0%/D	95.3%/B	32.3%/D	18.8%/D
2	出会いサポートセンター会 員数 [人]	4,176	5,000	7,000	3,500	4,000	4,500
			3,562	3,306	3,094	3,159	3,489
			71.2%/C	47.2%/D	88.4%/C	78.9%/C	77.5%/C
3	出会い支援事業等の成婚者 数(県・市町の統合指標) [組]	530	355	355	355	355	355
			169	137	148	106	108
			47.6%/D	38.6%/D	41.7%/D	29.9%/D	30.4%/D
4	20～30 歳代女性の転入超過 数(日本人) [人]	▲ 3,385	▲2,708	▲2,031	▲1,354	▲677	±0
			▲3,786	▲2,933	▲3,468	▲3,465	▲3,577
			-/D	-/D	-/D	-/D	-/D

項目2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備

(1) 妊娠・出産の不安解消

主な事例	不妊や予期せぬ妊娠など妊娠期から寄り添う子育て支援の充実
・ 予期せぬ妊娠など妊娠・出産に悩みや不安を抱える方やその家族等が、電話やメール、LINE 面談、受診同行など、24 時間 365 日安心して専門家に相談できる窓口を設置（相談件数 R5：16,421 件、R6：13,810 件） ・ 安心して子どもを産み育てられる社会の実現のため、不妊・不育症に悩む方に対する検査・治療費用への支援や、県民理解を深めるための動画等を活用した普及啓発を実施 ・ 経済的に困窮し身近に頼る人や住む家がない等課題を抱える妊産婦が、頼れる居場所に出会い、安心して出産でき、自立や夢を実現できるよう支援	 兵庫県不妊治療応援サイト 「妊活はじめての一步」

(2) 子育てや教育に係る負担の軽減

主な事例	乳幼児等医療費助成事業・こども医療費助成事業等の実施
・ 一定の所得以下の家庭の乳幼児等が病気やけがで医療機関等を受診した場合に、医療保険における自己負担額の一部を公費で負担する「乳幼児等医療費助成事業」(対象:小学3年生まで)及び「こども医療費助成事業」(対象:小学4年生から中学3年生まで)を実施し、医療に係る負担を軽減（対象者数 R4:525,948 人、R5:509,666 人） ・ 幼児教育・保育の無償化の給付を受けていない、満3歳以上の幼児の保護者が負担する子育て施設等の利用料を支援（R6：延べ1,335 人を支援）	

(3) 次代を担う人材を育成する教育力の強化【再掲】

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計 画 期 間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	推計値(目標)と合計特殊出生率(実績)との差	1.41	0 (1.41)	0.03 (1.38)	0.05 (1.36)	0.07 (1.34)	0.1 (1.31)
			▲0.02 (1.39)	▲0.02 (1.36)	▲0.05 (1.31)	▲0.05 (1.29)	▲0.08 (1.23)
			— /D	— /D	— /D	— /D	— /D
2	周産期母子センター・地域周産期病院の指定数 [箇所]	31	31	31	31	31	31
			31	30	30	29	29
			100.0%/A	96.8%/B	96.8%/B	93.5%/B	93.5%/B
3	里親登録者数 [人]	403	464	509	554	599	644
			433	478	517	546	(R7.8 月)
			93.3%/B	93.9%/B	93.3%/B	91.2%/B	%/
4	児童のいる世帯のうち2人以上児童のいる世帯数割合 [%]	54.3	—	—	58.7	—	—
			—	—	49.4	—	(次回 R7)
			—	—	84.2%/C	—	—

項目3 子育て応援社会の形成

(1) 安心して働くことができる保育環境等の充実

主な事例	放課後児童クラブの充実や男性の家事・育児への参画促進
・ 保育所等通園児の小学校入学を機に保護者の仕事と育児の両立が困難となる「小1の壁」の解消を図るため、開設時間の延長等放課後児童クラブの機能を充実 (利用児童 R5:59,754人、R6:62,225人) ・ 企業の管理職・社員を対象とした出前講座や、子育て中のパパ向けのセミナーの開催等、企業及び当事者の意識改革を促し、男性の家事・育児への参画を促進 【セミナー実施例】 子育て応援出前講座、パパの子育て応援セミナー	 パパの子育て応援セミナーの様子

(2) 子育て家庭を見守る地域づくり

主な事例	全ての子育て家庭を対象とした支援
・ 在宅で保育されている子どもや保護者が、保育所等でしつけや集団活動を学ぶ、「乳幼児子育て応援事業(0～2歳児)」など、全ての子育て家庭を対象とした支援を実施 (R6実施箇所:521園) ・ 経済的な理由等により食事が十分に取れていない子どもに食事を提供する「子ども食堂」の立ち上げ経費の助成や、ヤングケアラー・若者ケアラーの早期発見、悩みの相談支援、福祉サービスへの円滑なつなぎ等のための支援体制構築を推進	 こども食堂の様子

○主な政策アウトカム指標 (上段:目標、中段:実績、下段:評価)

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	保育所・認定こども園等定員数(累計) [人]	115,268	115,000 119,108 103.6%/A	118,000 121,964 103.4%/A	120,000 123,660 103.1%/A	121,000 124,692 103.1%/A	121,000 124,715 103.1%/A
2	保育士・保育教諭、幼稚園教諭数 [人]	[保] 19,684 [幼] 4,140	[保] 20,200 [幼] 4,096 [保] 20,688 [幼] 4,045 [保] 102.4%/A [幼] 98.8%/B	[保] 20,900 [幼] 4,054 [保] 21,711 [幼] 3,969 [保] 103.9%/A [幼] 97.9%/B	[保] 21,200 [幼] 4,013 [保] 21,366 [幼] 3,944 [保] 100.8%/A [幼] 98.3%/B	[保] 21,300 [幼] 3,973 [保] 21,972 [幼] 3,756 [保] 103.6%/A [幼] 94.5%/B	[保] 21,300 [幼] 3,973 [保] (R7.12月) [幼] 3,565 [保] - [幼] 90.6%/B
3	病児・病後児保育の不足量 [人日]	▲ 20,570	需給均衡 ▲60,779 - /A	需給均衡 ▲65,698 - /A	需給均衡 ▲66,443 - /A	需給均衡 ▲59,134 - /A	需給均衡 ▲64,268 - /A
4	夫の育児・家事分担時間 [分] ※5年に1度の調査	85 ※H28	- - -	(R7年度までに120分) 94 78.3%/C	- - -	- - -	- - -

戦略4 自然増対策（健康寿命対策）（健康寿命延伸 プログラム）

1 目標

- ① 平均寿命と健康寿命の差を縮める
- ② 運動を継続している人の割合を高める

2 令和6年度の戦略指標達成状況

戦略指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
① 平均寿命と健康寿命の差	目標 (年齢差)	—	—	—	—	—	男性：1.40 女性：3.13 未満
	実績 (年齢差)	男性：1.48 女性：3.20	男性：1.44 女性：3.16	男性：1.39 女性：3.06	男性：1.34 女性：2.94	R7年度中	R8年度中
	評価	—	—	—	—	—	[未判明]
② 運動を継続している人の割合	目標 (%)	—	73.0	75.0	64.4	65.8	67.2
	実績 (%)	62.7	65.5	63.0	67.8	61.0	65.8
	評価	—	89.7%/C	84.0%/C	105.3%/A	92.7%/B	97.9%/B

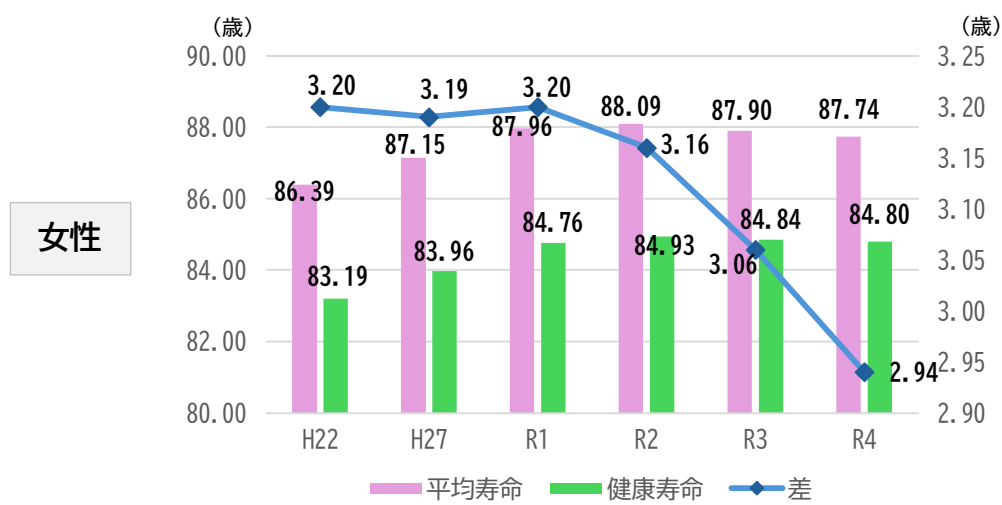
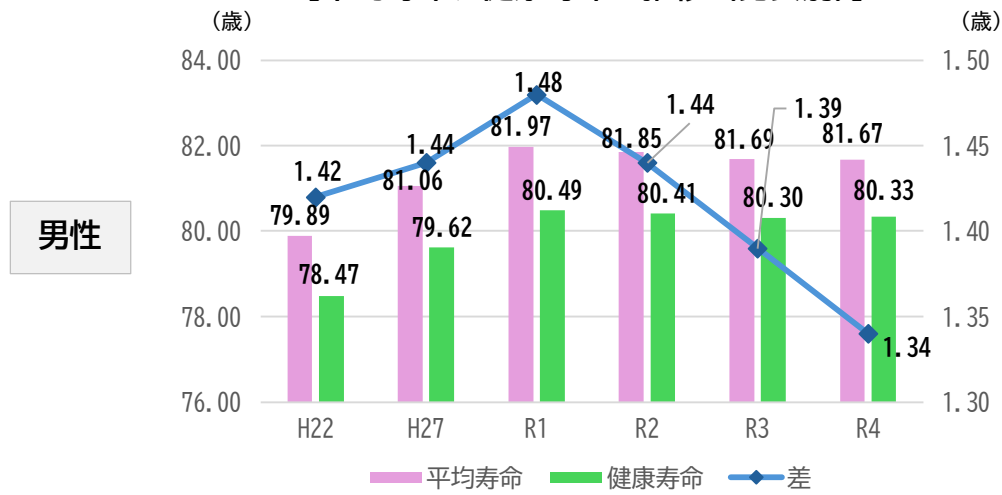
【目標値達成率に対する評価】

A：100%以上、B：90%以上 100%未満、C：70%以上 90%未満、D：70%未満

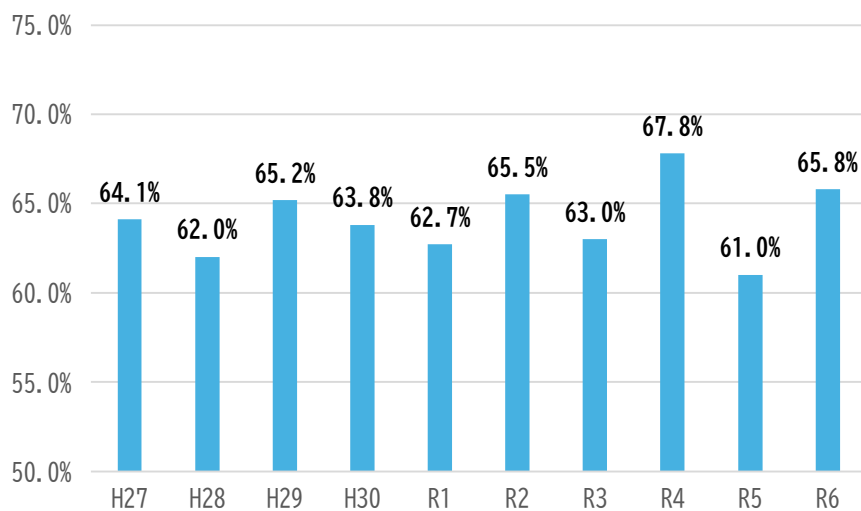
〈令和6年度の分析状況〉

- ・ R6 年度実績は R8 年度に判明予定のため評価はできないが、令和4年度実績の段階では、令和元年をピークに平均寿命と健康寿命の差は男女いずれも縮小傾向となっている。
- ・ 運動を継続している人の割合は 65.8%と昨年度より 4.8 ポイント上昇し、微増傾向にはあるものの、目標を下回った。

【平均寿命、健康寿命の推移（男女別）】



【運動を継続している人の割合の推移】



重点目標 6 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる

重点指標	区分	(参考) R1	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
がんによる 75 歳未満の年齢調整死亡率	目標 (%)	—	—	—	—	全国平均より 5%低い状態	全国平均より 5%低い状態
	実績 (%)	全国平均よりも 3.1%低い状態 国70.0 県67.8	全国平均よりも 0.9%低い状態 国69.6 県69.0	全国平均よりも 0.7%低い状態 国67.4 県66.9	全国平均よりも 3.9%低い状態 国67.4 県64.7	全国平均よりも%低い状態 国 県	(R8. 3月) ※1
	評価	—	—	—	—	—	[評価不可]
朝食を食べる人の割合	目標 (%)	—	—	—	—	—	20 歳代男性 :57 以上 20 歳代女性 :76 以上
	実績 (%)	20 歳代男性 :⑦51.4 20 歳代女性 :⑦69.2	20 歳代男性 :57.1 20 歳代女性 :75.8	20 歳代男性 :47.0 20 歳代女性 :64.9	20 歳代男性 :61.3 20 歳代女性 :66.7	20 歳代男性 :54.7 20 歳代女性 :56.2	20 歳代男性 :44.0 20 歳代女性 :53.2
	評価	—	—	—	—	—	男性 77.2%/C 女性 70.0%/C
認知症相談医療機関の登録数	目標 (箇所)	—	2,186	2,202	2,218	2,234	2,250
	実績 (箇所)	2,168	2,138	1,937	1,955	1,731	1,755
	評価	—	97.8%/B	87.9%/C	88.1%/C	77.5%/C	78.0%/C
75 歳以上人口に占める要介護認定率	目標 (%)	—	—	—	—	—	34.6
	実績 (%)	34.3	34.6	34.5	33.8	(R7.8月)※1	(R8.8月)※1
	評価	—	—	—	—	—	[評価不可]
高齢者 (65 歳～74 歳) の有業率	目標 (%)	—	—	—	38.3	—	—
	実績 (%)	⑨32.7	—	—	37.3	—	—
	評価	—	—	—	97.4%/B	—	—

【目標値達成率に対する評価】

A : 100%以上、B : 90%以上 100%未満、C : 70%以上 90%未満、D : 70%未満

※1 該当年度において実績値が未判明のものについては判明時期を記載

項目1 健康づくりの推進

(1) 疾病の早期発見・早期治療の推進

主な事例	疾病の早期発見・早期治療の推進
- がん検診の「受診しやすい環境づくり」に取り組む事業所を支援するため、健康づくりチャレンジ企業のうち従業員数が300人以下の事業所及び県内の従業員数100人以下の事業所等において、従業員やその被扶養者ががん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん）を受診した場合に、その費用の一部を助成 (R5 助成：177 企業、12,409 人、R6 助成：170 企業、12,664 人) - 県民の歯と口の健康意識の向上を図るため、関連団体、関連企業、企業等が協働し、歯と口の健康について広く PR 出来る人材を活用し、全世代が参加できる啓発イベントを実施	 啓発イベントの開催

(2) 生活習慣の改善促進

主な事例	企業の従業員やその家族の健康づくりの支援
- 県民の健康寿命の延伸を目指し、健康づくりに関心の低い働き盛り世代の取組を促進するため、従業員やその家族の健康づくりに積極的に取り組もうとする企業を「健康づくりチャレンジ企業」として登録 (登録企業数 R4：2,163 社、R5：2,269 社、R6：2,377 社) - 登録企業に対しては、健康情報の提供やメンタルヘルス対策に関する産業カウンセラー等の専門人材の派遣、がん検診・歯科健診受診助成などの取組支援を実施 (企業のメンタルヘルス等推進事業実績 R4：168 社、R5：151 社、R6：167 社)	 「健康づくりチャレンジ企業」 チラシ

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計 画 期 間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	特定健診受診率 [%]	51.7	50.0	5.02	55.0	60.0	65.0
			49.7	52.7	54.3	(R7 中)	(R8 中)
			99.4%/B	101.3%/A	98.7%/B	-	[評価不可]
2	特定保健指導実施率 [%]	20.1	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0
			20.1	22.7	23.9	(R7 中)	(R8 中)
			100.5%/A	90.8%/B	79.7%/C	-	[評価不可]
3	がん検診受診率 [%] ※実績は3年に1回	胃がん: 44.1% 肺がん: 44.6% 大腸がん: 42.5% 子宮頸がん: 39.1% 乳がん: 42.1%	50	50	50	50	60.0
			-	-	胃がん:35.8 肺がん:44.2 大腸がん:43.2 子宮頸がん:38.9 乳がん:42.8	-	-
			-	-	胃がん:71.6/B 肺がん:88.4/B 大腸がん:86.4/B 子宮頸がん:77.8/B 乳がん:85.6/B	-	-
4	健康づくりチャレンジ企業 登録数 [社]	1,681	1,500	1,500	1,500	1,800	2,300
			1,866	2,012	2,163	2,269	2,377
			124.4%/A	134.1%/A	144.2%/A	126.0%/A	103.3%/A

項目2 高齢者等誰もが安心して暮らせる環境整備

(1) 認知症対策の推進

主な事例	認知症予防・早期発見の推進
	- 認知症予防教室をより効果的に展開するため、先進的な研究成果に基づくプログラムの活用や、客観的データを用いた効果検証・事業評価に取り組む市町に財政支援を実施(R5: 5市町、R6: 4市町) - 身近な相談窓口として市町による「認知症相談センター」の設置を促進(R7.3月末現在: 258カ所)し、同センター相談員や市町認知症支援担当者を対象に研修等の技術支援を実施(技術支援 R5: 1回、R6: 1回) - 認知症の本人に「ひょうご認知症希望大使」を委嘱し、普及啓発活動や当事者の意見を反映した認知症施策の展開等を推進

(2) 高齢者の地域生活を支える体制の強化

主な事例	地域における介護予防・生活支援の取組支援
	- 高齢者が安心して暮らせる地域づくりの一環として、地域における介護予防・生活支援の取組支援や、住民主体の取組が県内全域で展開されるよう、関係団体による介護予防・生活支援推進会議の開催、市町職員等を対象とした介護予防推進研修を実施。県内市町では、通いの場等での「いきいき百歳体操」等の取組を推進 - 筋力維持を図り、健康二次被害を予防するため、健康スポーツ医や健康運動指導士等と連携し、地域高齢者の通いの場等を活用した運動指導を実施(R5: 3市町) - 介護ロボットの導入や人材確保等に係る介護現場の生産性向上に関する相談等に対応する「ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センター」を設置し、既存事業に生産性向上の視点を加えることで、介護の質の向上や働きたい職場づくりを推進



ひょうご介護テクノロジー導入・生産性向上支援センター

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	認知症相談センターの相談件数 [件]	12,205	12,400	12,600	12,800	13,000	13,200
			11,843	11,600	12,524	13,527	13,127
			95.5%/B	92.1%/B	97.8%/B	104.1%/A	99.4%/B
2	居宅サービス利用者数 [人]	502,357	-	-	-	-	(R7年に419,372)
			512,086	533,655	550,092	(R7.8月)	(R8.8月)
			-	-	-	-	-
3	在宅看取り率 [%]	28.2	27.0	28.8	29.1	29.4	-
			30.6	33.7	34.8	34.1	(R7.10月)
			113.3%/A	117.0%/A	119.6%/A	116.0%/A	[評価不可]

項目3 元気高齢者の社会参加の促進

(1) 元気高齢者の社会参加の促進

主な事例	シニア世代の就労及び社会参加の促進
・ ひょうご・しごと情報広場に「シニア世代就労相談窓口」を設置し、就労意欲のあるシニア世代がライフスタイルや能力に合わせて活躍できるよう、就労希望者のマッチングを支援 ・ 高齢者・女性等の地域住民が介護保険施設や訪問介護事業所等で研修期間を設けて介護の周辺業務に従事する「ひょうごケア・アシスタント制度」等により、介護現場への多様な人材の参入を推進 ・ 定年退職後などの高齢者の就業ニーズに対応した臨時的・短期的な就業機会の拡充を図るとともに、高齢者の生きがいづくりや社会参画を推進するため、(公社)兵庫県シルバー人材センター協会の運営を支援 (会員数 R4：40,240人、R5：35,403人、R6：34,915人) ・ 高齢者の生涯学習の場として、また地域貢献活動へ参画するきっかけをつかむ場として、高齢者大学を運営 (受講者数 R5：2,219名、R6：2,119名) ・ いなみ野学園において、著名な講師を招くなど魅力を高めたオンラインによる教養講座を実現するとともに、動画配信等による在宅学習の普及を推進することにより、場所を選ばずに学びが継続できる体制を確保	 シニア世代就労相談窓口の様子  近隣高校と連携した高齢者大学講座

○主な政策アウトカム指標（上段：目標、中段：実績、下段：評価）

番号	指標名	R1 (参考)	計画期間				
			R2	R3	R4	R5	R6
1	シルバー人材センター事業における就業実人員数 [人]	34,232	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
			31,997	31,104	30,239	29,476	28,752
			91.4%/B	88.9%/C	86.4%/C	84.2%/C	82.1%/C

V 戦略後期2か年の重点取組

1 GrowthDriver ～成長を牽引する共通基盤～

地域創生戦略後期2か年の重点的な取組方針として、第1に、本県の持続的な成長、発展を牽引するための、全ての取組に通じる共通基盤「Growth Driver」を設定した。具体的には、持続可能な社会の実現に向けた世界の共通目標であり、全ての主体の行動指針となる「SDGs」、社会課題の解決に向け、多様な主体のポテンシャルを活かし合う「公民連携」、時間の制約や距離の壁を越え、付加価値を高める「DX」である。

第2に、時代の動きを踏まえ、ポストコロナ社会を先導する「Frontier」、地方回帰の流れを捉える「Return」、将来世代への応援を強化する「Future」の3つの柱を設定し、重点的に取り組む施策を掲げた。

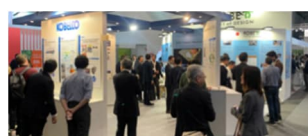
2 重点取組の3つの柱

Frontier ～ポストコロナ社会を先導する～

コロナ禍は、都市集中の脆弱性を顕在化させるとともに、社会の価値観や行動様式に大きな変化をもたらした。新たな潮流の中で、豊かな県民の暮らしと兵庫の地蔵可能な発展を実現させていくためには、民間とのパートナーシップやデジタル技術の活用を最大限に図りながら、ポストコロナ社会を先導する取組に積極的にチャレンジしていかなければならない。産業競争力の強化、交流の拡大、多自然地域の活性化など、新たな地域モデルとなる取組を推進する。

(1) GX（グリーントランスフォーメーション）の加速

温室効果ガスの排出削減と産業競争力の向上に資する GX の取組を、様々な産業分野で官民を挙げて展開

主な事例		水素海外展開チャレンジ事業の実施	
・ 水素分野におけるインフラ整備が先行する欧州を主として、水素分野で優れた技術・製品を有する県内企業の販路拡大を支援することで、産業競争力を強化 (R6 支援件数：10 件) ←データがあれば		 「Hydrogen Technology EXPO Europe 2024」出展	

(2) 2025 大阪・関西万博等を見据えた関西・瀬戸内交流圏の形成

大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭の同時開催を踏まえた、関西エリアと瀬戸内エリアを結ぶ大交流圏を形成

主な事例		他府県連携によるインバウンド誘客の促進	
・ 万博や瀬戸内国際芸術祭の開催による訪日外国人旅行者の増加を契機と捉え、大阪府や香川県等と連携し、広域周遊ルート開発やツアー造成等により、本県への誘客を促進			

造成コンテンツの例
<「高見國一鍛刀場特別案内」(佐用町)>

(3) 新たな技術や多様なチカラによる地域課題解決

市町と連携して多自然地域の活力創出に取り組むとともに、社会企業家の育成・成長支援等により、様々なプレイヤーによる地域課題解決の取組を推進

主な事例	持続可能な多自然地域づくりプロジェクトの実施
・多自然地域における持続可能な生活圏の形成に向けて、県と市町の重層支援体制のもと集落の枠組みを超えて広域的に集落機能を支え合う住民主体の地域運営体制の構築、地域伴走支援体制の構築を推進するとともに、①地域づくり支援人材にかかる人材育成事業、②地域づくり支援のためのツール開発事業、③関係人口創出・拡大事業を実施。 (R6 プロジェクト着手市町数：18 市町)	

Return ～地方回帰の流れを捉える～

コロナ禍は、リモートワークやオンライン教育などのデジタル技術の社会実装を急速に拡大させ、新しい働き方や暮らし方を志向する意識も高まった。

本県においても、多自然地域への移住や企業の移転などの動きが見られ、働き方改革や移住促進策の強化、まちのにぎわいや魅力づくりなどにより、この地方回帰の流れを確かなものとしていく。

(1) 働き方改革先進県の実現

柔軟に働きながら幸福度（Well-being）を高める環境整備や、多様な人材が活躍できる職場づくりにより、誰もがチャレンジできる多様な働き方を推進

主な事例	女性の就業サポート事業
・県立男女共同参画センター（イーブン）内の女性就業相談室における個別相談やハローワークと連携した職業紹介により、女性の就業を促進 (R6 実績) 職業相談・職業紹介利用者数：3,653 人、 職業紹介人数：697 人、就職件数：213 件、 イーブンから誘導された求職者数：569 人	



イーブン女性就業相談室

(2) 移住施策の強化【再掲】

(3) シビックプライドの醸成【再掲】

Future ～将来世代への応援を強化する～

人口減少の進行等により将来不安が増すなか、県民が安心して望む生き方を選択できる社会、子どもたちが将来への希望を持って活躍できる社会を目指していく必要がある。

結婚、出産、子育てなど望むライフユースの実現、特別な課題を抱える人への支援、子どもたちの学びの環境整備など、兵庫の未来を担う世代への支援を一層推進する。

幅広い出会いの機会の提供や、不妊等への精神面・経済面の負担軽減、子育てに優しい地域づくりなど、結婚・出産・子育ての希望を叶える取組を展開

須磨学園高等学校での講座の様子



改修住戸イメージ

特別な課題を抱える家庭や子どもが、必要な時に必要な支援を滞りなく受けられるよう国や市町と連携し、個別の事情に沿ったきめ細やかな支援制度を構築

高等教育の経済的負担軽減を図るとともに、新しい時代のニーズを踏まえた学校づくりの推進や、「生徒ファースト」の視点で学校施設の改善等を推進

[illegible]